

# IRミーティング

## 2019年8月期第2四半期決算説明資料



株式会社 ジー・スリーホールディングス  
<http://www.g3holdings.com/>

2019年5月13日（月）  
日本証券アナリスト協会  
東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル3F

**当社グループの概要について**

**2019年8月期第2四半期業績概況について**

**株式会社ジー・スリーホールディングス**

**代表取締役兼最高管理責任者（CFO グループ管理統括） 長倉統己**

**今後の事業展開について**

**株式会社ジー・スリーホールディングス**

**代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO グループ事業統括） 奥田泰司**

**環境関連事業について**

**株式会社ジー・スリーホールディングス**

**再生エネルギー事業部ゼネラルマネージャー 遠藤洋**

**SBY事業について**

**株式会社S B Y 取締役 阿世知義徳**

**FATBURGER事業について**

**株式会社Green Micro Factory 取締役 西山弘行**



# 当社グループの概要

# ジー・スリーホールディングスの概要



G Three Holdings



## G Three Holdings

<http://www.g3holdings.com/>

株式会社ジー・スリーホールディングス（コード：3647 東証第二部）

|      |                                                                                                                                                                                  |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本 社  | 東京都品川区東品川2-3-14東京フロントテラス20F                                                                                                                                                      |
| 資本金  | 876百万円                                                                                                                                                                           |
| 事業目的 | グループ各社の経営管理及び経営戦略、並びに環境関連事業                                                                                                                                                      |
| 役 員  | 代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO グループ事業統括）：奥田 泰司<br>代表取締役兼最高管理責任者（CFO グループ管理統括）：長倉 統己<br>社外取締役監査等委員（取締役会議長・独立役員）：松山 昌司（公認会計士）<br>社外取締役監査等委員（独立役員）：本間 周平（公認会計士）<br>社外取締役監査等委員（独立役員）：川崎 修一（弁護士） |
| 役職員数 | 21名                                                                                                                                                                              |

2019年2月28日現在

# ジー・スリーホールディングス主要子会社の概要



G Three Holdings



~keep on shinin'~

<http://www.sby.co.jp/>

<http://shop.sby.co.jp/>

## 株式会社SBY（100%子会社）

本 社 東京都品川区東品川2-3-14東京フロントテラス12F  
資本金 65百万円  
事業目的 コンセプトマーケティングショップ運営、ビジネス・アライアンス事業  
役 員 代表取締役社長 奥田泰司  
取締役 阿世知義徳 松本 隆 西山弘行  
役職員数 39名 ※アルバイト従業員含む



<http://www.eco-techno.co.jp/>

## 株式会社エコ・テクノサービス（100%子会社）

本 社 東京都品川区東品川2-3-14東京フロントテラス20F  
資本金 10百万円  
事業目的 太陽光発電所保守及びアフターメンテナンス、土木・電気工事、開発関連事業  
役 員 代表取締役社長 遠藤洋  
取締役 田名部充  
役職員数 5名



<http://www.greenmicrofactory.co.jp/>

## 株式会社Green Micro Factory（100%子会社）

本 社 東京都品川区東品川2-3-14東京フロントテラス12F  
資本金 10百万円  
事業目的 飲食店の企画・設計・運営、農業・林業・漁業及び畜産業並びに水産・魚介の養殖  
役 員 代表取締役社長 奥田泰司  
取締役 ニコラヴィエルジュ 取締役 西山弘行  
役職員数 23名 ※アルバイト従業員含む

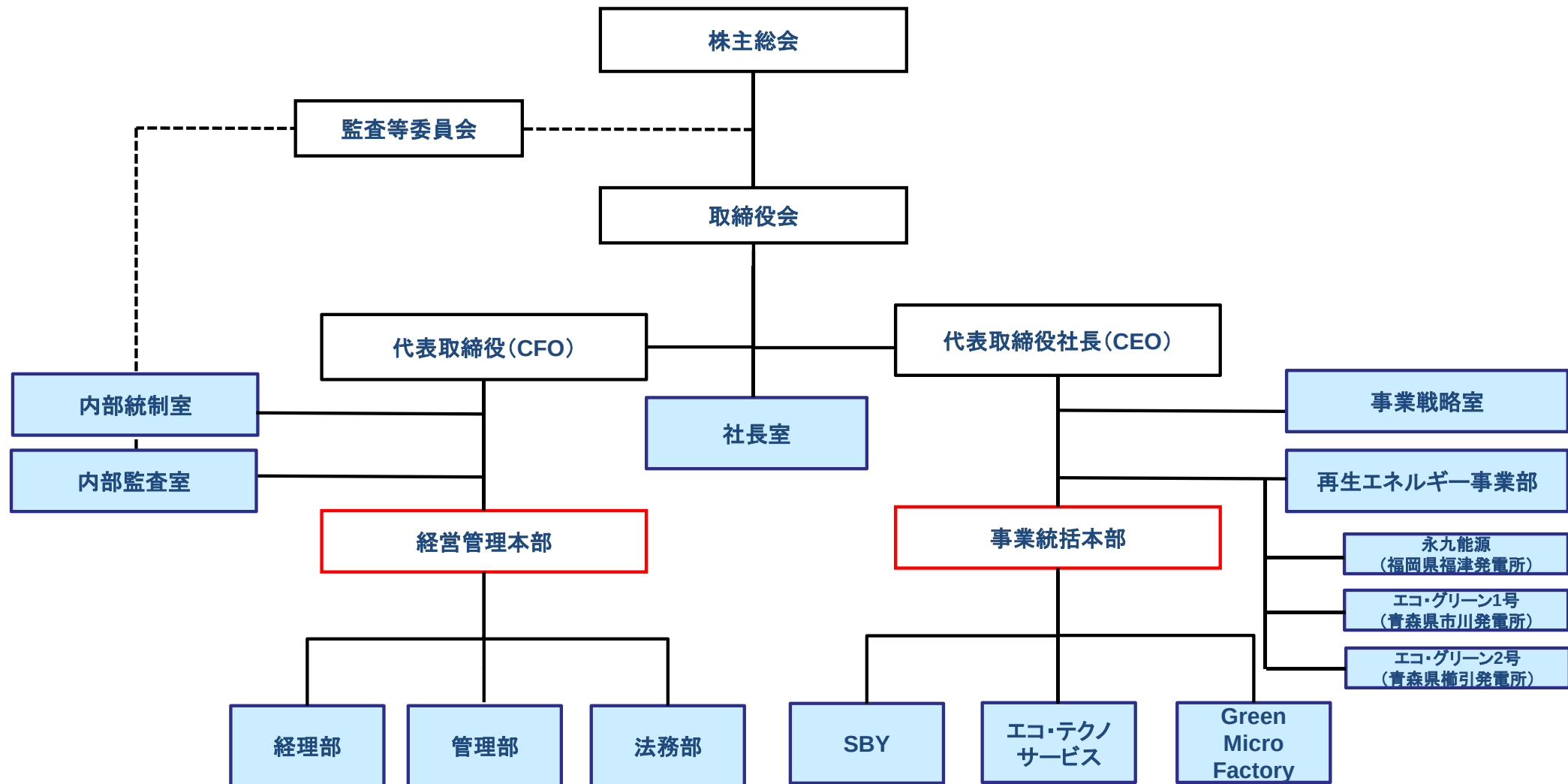
## ◆沿革

|                     |                                             |
|---------------------|---------------------------------------------|
| ■株式会社コネクテクノロジーズ     |                                             |
| ・2000年5月            | (株)コネクテクノロジーズ設立                             |
| ・2004年3月            | 東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場                         |
| ■株式会社コネクホールディングス    |                                             |
| ・2011年3月            | 純粋持株会社として(株)コネクホールディングスを設立、株式移転により東証マザーズへ上場 |
| ・2011年3月            | (株)SBYをM&Aにより子会社化                           |
| ・2014年11月           | (株)エコ・ボonzを設立により子会社化                        |
| ・2015年1月            | 東京証券取引所市場第二部へ市場変更                           |
| ■株式会社ジー・スリーホールディングス |                                             |
| ・2016年1月            | (株)コネクホールディングスより商号変更                        |
| ・2016年11月           | (株)エコ・テクノサービスを設立により子会社化                     |
| ・2016年12月           | 東京都品川区東品川二丁目3番14号東京フロントテラスに本社及びグループ会社移転     |
| ・2018年2月            | (株)Green Micro Factoryを設立により子会社化            |
| ・2018年9月            | 当社を存続会社、(株)エコ・ボonzを消滅会社として吸収合併              |

# グループ組織図 (2019年2月28日現在)



G Three Holdings



# 株主の状況 (2019年2月28日現在)



G Three Holdings

## ◆株主総数・発行済株式総数

| 株主総数    | 発行済株式総数     |
|---------|-------------|
| 14,919名 | 79,968,601株 |

## ◆大株主の状況

|    | 株主名                  | 持株数        | 持株比率  |
|----|----------------------|------------|-------|
| 1  | 株式会社ふぉー優             | 2,600,000株 | 3.25% |
| 2  | 株式会社サンライフコーポレーション    | 2,500,000株 | 3.12% |
| 3  | 株式会社プラザ開発            | 2,500,000株 | 3.12% |
| 4  | 株式会社 J T コンサルティング    | 2,000,000株 | 2.50% |
| 5  | 日本証券金融株式会社           | 1,747,500株 | 2.18% |
| 6  | 野村信託銀行株式会社 (投信口)     | 1,261,200株 | 1.57% |
| 7  | 長倉統己 (当社代表取締役兼CFO)   | 1,000,000株 | 1.25% |
| 8  | 奥田泰司 (当社代表取締役社長兼CEO) | 750,000株   | 0.93% |
| 9  | 徳田昌彦                 | 505,000株   | 0.63% |
| 10 | 湯浅英之                 | 350,000株   | 0.43% |

※別途、当社は自己株式 7,884,000 株を保有しております。

※上記に記載の事項は2019年2月28日現在の状況です。

当社は、2019年3月1日を効力発生日とする株式併合 (普通株式5株を1株に併合) を実施しております。

## ◆所有者別状況

|          | 金融機関 | 金融商品取引業者 | その他の法人 | 外国法人等 | 個人・その他 | 計      |
|----------|------|----------|--------|-------|--------|--------|
| 所有割合 (%) | 3.76 | 0.42     | 13.87  | 0.34  | 81.61  | 100.00 |



# 2019年8月期第2四半期IRトピックス

| 適時開示日       | IR内容                                   |
|-------------|----------------------------------------|
| 2019年4月12日  | 2019年8月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）            |
| 2019年4月12日  | 2019年8月期第2四半期報告書                       |
| 2019年3月28日  | 株式併合による1株に満たない端数の処理に伴う自己株式の買取りに関するお知らせ |
| 2019年1月15日  | 連結子会社の取締役就任に関するお知らせ                    |
| 2019年1月15日  | 2019年8月期第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）            |
| 2019年1月15日  | 2019年8月期第1四半期報告書                       |
| 2018年12月20日 | 太陽光発電所（固定資産）の取得及び資金調達に関するお知らせ          |
| 2018年11月30日 | 2018年8月期有価証券報告書                        |
| 2018年11月29日 | 当社による太陽光発電所の売却に関するお知らせ                 |
| 2018年11月14日 | 第8期定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項         |
| 2018年11月14日 | 第8期定時株主総会招集ご通知                         |
| 2018年10月26日 | 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要に関するお知らせ          |
| 2018年10月15日 | 取締役候補者及び監査等委員である取締役候補者の決定に関するお知らせ      |
| 2018年10月15日 | 子会社の吸収合併による特別利益（抱合せ株式消滅差益）の発生に関するお知らせ  |
| 2018年10月15日 | 株式併合及び定款の一部変更に関するお知らせ                  |
| 2018年10月15日 | 2018年8月期決算短信〔日本基準〕（連結）                 |
| 2018年9月14日  | 2018年8月期業績予想（通期）の修正に関するお知らせ            |
| 2018年9月5日   | 太陽光発電所の増設に伴う割賦販売契約の締結による資金調達に関するお知らせ   |

# 2019年8月期第 2 四半期業績概況

# 2019年8月期第2四半期 当社グループの概況



G Three Holdings

2019年8月期第2四半期における当社グループは、事業子会社の株式を100%保有し、グループ全体の経営戦略及び管理業務（財務・経理・総務・人事・情報システム）を担うとともに、事業部門として、環境関連事業を展開する株式会社ジー・スリーホールディングス（以下、「当社」という）、及び株式会社エコ・テクノサービス（以下、「エコ・テクノサービス」という）、並びにS B Y事業を展開する株式会社S B Y（以下、「S B Y」という）、FATBURGER事業を展開する株式会社Green Micro Factory（以下、「G M F」という）からなるグループ体制をとっています。

当社グループを取巻く環境として、当社、及びエコ・テクノサービスが展開する環境関連事業については、経済産業省による固定価格買取制度の見直しを受け、太陽光発電事業者の選別淘汰が進むとともに、太陽光発電所におけるセカンダリー市場の形成が進む等、インフラ投資を踏まえた今後の市場拡大が期待されています。

S B Yが展開するS B Y事業、及びG M Fが展開するFATBURGER事業は、訪日外国人観光客によるインバウンド消費は縮小傾向にはあるものの、主要顧客である若年層の消費意欲は依然として増大しており、サービス・小売業を中心とした経済効果が見込まれています。

このような環境の中、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、連結売上高は2,673百万円（前年同四半期比112.2%増）と大幅な増収となりました。

しかし、連結営業損失は327百万円（前年同四半期は連結営業利益225百万円）、連結経常損失は419百万円（前年同四半期は連結経常利益157百万円）と大幅な減益となったものの、特別利益に関係会社出資金売却益128百万円、受取和解金100百万円等を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は152百万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は99百万円）と損失幅を縮小させることが出来ました。

一方、当第2四半期累計期間における当社個別業績につきましては、売上高は2,095百万円（前年同四半期比247.4%増）と大幅な増収となるも、経常損失は221百万円（前年同四半期は経常利益247百万円）と減益となったものの、関係会社出資金売却益128百万円、受取和解金100百万円その他、抱合せ株式消滅差益203百万円等を特別利益に計上したことから、四半期純利益は221百万円（前年同四半期比12.8%増）と、前年同期を上回る増益となりました。

環境関連事業は、当社、及びエコ・テクノサービスにて展開しております。

当社は、エネルギー関連分野における投資効率を踏まえた資産運用の観点から、太陽光発電所の保有による電力会社に対する売電事業、及び未着工太陽光発電所の買取事業、並びに太陽光発電運用会社への投資、また、太陽光発電用地に加え、固定価格買取制度の適用を受けるための経済産業省による設備認定、及び電気事業法に規定する一般電気事業者（電力会社）からの許認可による発電事業者の権利（発電設備を電力会社の電力系統に接続する権利）を取得することで、用地及び認定・権利を運用会社に売却あるいは賃貸を行い、併せて運用会社への太陽光発電事業のコンサルティング、また太陽光電池モジュール及び周辺機器等太陽光発電商材の販売を行うことをビジネスモデルとして展開しています。

エコ・テクノサービスは、当社が運営、又は運用会社に売却あるいは賃貸する太陽光発電所について、稼働後20年間に亘り安定した発電事業を運営できるように、最新の技術と専門技術者によるオペレーション及びメンテナンス並びに障害対応事業を行うことをビジネスモデルとして展開しています。

当第2四半期連結累計期間においては、当社及び当社グループが保有し運営を行っている太陽光発電所9カ所の売電収入、太陽光発電所に係る設備認定及び発電事業者の権利の売却収入、及び太陽光電池モジュール等太陽光発電商材の販売収入を売上高として計上しておりますが、季節要因による売電収入の落ち込みとともに、太陽光発電所の取得に係る一時コストを販売管理費に計上していることから、環境関連事業の売上高は2,190百万円（前年同四半期比137.7%増）と大幅な増収となるも、セグメント損失（営業損失）は20百万円（前年同四半期はセグメント利益425百万円）となりました。

なお、セグメント利益には反映されませんが、当社が出資する太陽光発電所にかかる持分を売却したことから、関係会社出資金売却益128百万円を特別利益として計上しております。

# 2019年8月期第2四半期 SBY事業の概況



G Three Holdings

SBYは、店舗展開を中心としたエンターテインメントショップの運営、並びにプロデュース、ディレクション、プロモーションや、自社及び海外コスメブランドの取扱いによるビジネスアライアンスをビジネスモデルとして展開しています。

エンターテインメントショップの運営においては、C2（13～19歳）及びF1（20～34歳）層の女性を主なターゲットとして日本を代表する流行最先端都市「渋谷」＝SBY（SHIBUYA）をブランドネームとし、その中核店舗は「アタラシモノ発見☆カフェ」をコンセプトにSHIBUYA109で運営しております。

エンターテインメントショップは単なる店舗販売事業ではなく、最先端の情報が揃う店舗型の情報発信スペースであり、流行に敏感な女性の心を掴み、夢中にさせる総合エンターテインメントを追求することにより、SBYから生まれた情報・商品がメディアや流通等のインフラに乗り、全国へ/世界へ発信されています。

ビジネスアライアンスにおいては、独自に収集分析するトレンド情報を活用し、主にC2及びF1層の女性を主なターゲットとして事業を展開している企業を総合的にプロデュースするプラットフォームを提供するとともに、Diamond Lash（つけまつげ）を始めとする自社ブランド商品（Diamondシリーズ）の国内外への卸販売、また、海外新ブランドのコスメ雑貨の国内卸販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、エンターテインメントショップの基幹店である渋谷店の売上、及びビジネスアライアンスにおける海外新ブランドのコスメ雑貨の売上は順調に推移しておりますが、事業規模の拡大に伴う人件費及び事務所家賃の増加とともに、在庫商品の一部において評価減を行ったことから、SBY事業の売上高は445百万円（前年同四半期比31.5%増）と増収となるも、セグメント損失（営業損失）は60百万円（前年同四半期はセグメント損失53百万円）となりました。

# 2019年8月期第2四半期 FATBURGER事業の概況



G Three Holdings

G M F は、FATBURGER NORTHAMERICA,INC.との日本国内における出店ライセンス契約により、ロサンゼルスを発祥とし、世界5大陸、18ヶ国で150を超える店舗を展開するバーガーブランドであるFATBURGERの国内運営をビジネスモデルとして展開しており、日本一号店を、渋谷（MAGNETbySHIBUYA109）にて2018年4月28日にオープンいたしました。

当第2四半期連結累計期間においては、渋谷店1店舗のみの店舗運営であることから、本社費用の負担がかさみ、FATBURGER事業の売上高は38百万円、セグメント損失（営業損失）は26百万円となりました。



# 2019年8月期第2四半期 連結P/Lサマリー



G Three Holdings

|               | 2019年8月期実績 |          |        | 前年同期実績  |
|---------------|------------|----------|--------|---------|
|               | 金額(百万円)    | 増減額(百万円) | 増減率(%) | 金額(百万円) |
| 売上高           | 2,673      | 1,413    | 112.2  | 1,259   |
| 売上総利益         | 240        | ▲354     | ▲59.6  | 595     |
| 販管費           | 568        | 198      | 53.6   | 369     |
| 営業利益          | ▲327       | ▲552     | —      | 225     |
| 経常利益          | ▲419       | ▲576     | —      | 157     |
| 親会社に帰属する当期純利益 | ▲152       | ▲251     | —      | 99      |

当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、連結売上高は2,673百万円（前年同四半期比112.2%増）と大幅な増収となりました。

しかし、連結営業損失は327百万円（前年同四半期は連結営業利益225百万円）、連結経常損失は419百万円（前年同四半期は連結経常利益157百万円）と減益となったものの、特別利益に関係会社出資金売却益128百万円、受取和解金100百万円等を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は152百万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は99百万円）と損失幅を縮小させることが出来ました。

# 2019年8月期第2四半期 当社（個別）P/Lサマリー



|       | 2019年8月期実績 |          |        | 前期実績    |
|-------|------------|----------|--------|---------|
|       | 金額(百万円)    | 増減額(百万円) | 増減率(%) | 金額(百万円) |
| 売上高   | 2,095      | 1,491    | 247.0  | 603     |
| 売上総利益 | 71         | ▲387     | ▲84.5  | 458     |
| 販管費   | 239        | 93       | 64.0   | 146     |
| 営業利益  | ▲168       | ▲480     | —      | 312     |
| 経常利益  | ▲221       | ▲468     | —      | 247     |
| 当期純利益 | 221        | 25       | 12.8   | 196     |

当社個別業績（当第2四半期累計期間）におきましては、売上高は2,095百万円（前年同四半期比247.4%増）と大幅な増収となるも、経常損失は221百万円（前年同四半期は経常利益247百万円）と減益となったものの、関係会社出資金売却益128百万円、受取和解金100百万円その他、抱合せ株式消滅差益203百万円等を特別利益に計上したことから、四半期純利益は221百万円（前年同四半期比12.8%増）と、前年同期を上回る増益となりました。



# 2019年8月期第2四半期 セグメント別損益



G Three Holdings

## 当期(2019年8月期第2四半期)実績

【百万円】

|          | 環境関連事業 | SBY事業 | FATBURGER事業 |
|----------|--------|-------|-------------|
| セグメント売上高 | 2,190  | 445   | 38          |
| セグメント利益  | ▲20    | ▲60   | ▲26         |

## 前期(2018年8月期第2四半期)実績

【百万円】

|          | 環境関連事業 | SBY事業 | FATBURGER事業 |
|----------|--------|-------|-------------|
| セグメント売上高 | 921    | 338   | —           |
| セグメント利益  | 425    | ▲53   | —           |

環境関連事業においては、当社及び当社グループが保有し運営を行っている太陽光発電所9カ所の売電収入、太陽光発電所に係る設備認定及び発電事業者の権利の売却収入、及び太陽光電池モジュール等太陽光発電商材の販売収入を売上高として計上しておりますが、季節要因による売電収入の落ち込みとともに、太陽光発電所の取得に係る一時コストを販売管理費に計上していることから、売上高は2,190百万円（前年同四半期比137.7%増）と大幅な増収となるも、セグメント損失（営業損失）は20百万円（前年同四半期はセグメント利益425百万円）となりました。

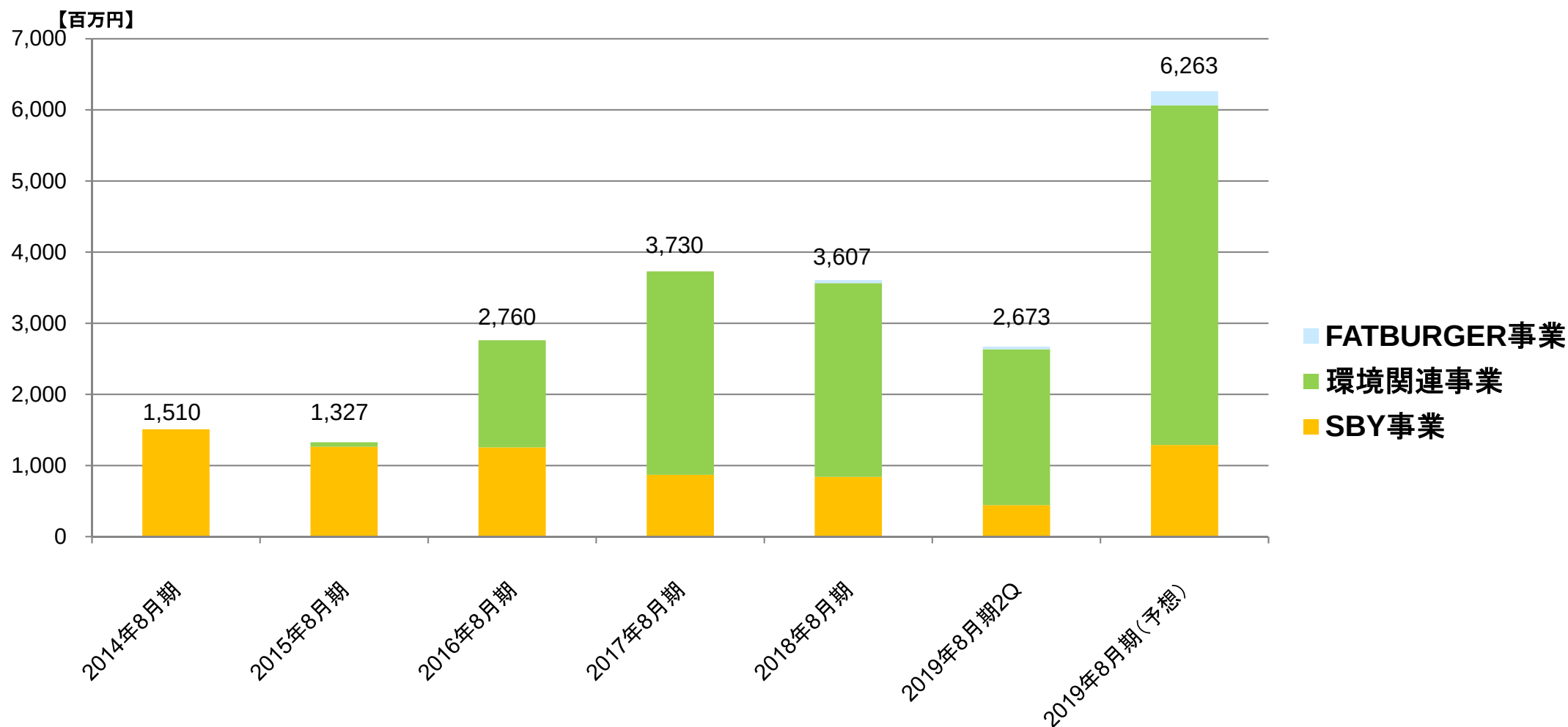
SBY事業においては、エンターテイメントショップの基幹店である渋谷店の売上、及びビジネスアライアンスにおける海外新ブランドのコスメ雑貨の売上は順調に推移しておりますが、事業規模の拡大に伴う人件費及び事務所家賃の増加とともに、在庫商品の一部において評価減を行ったことから、売上高は445百万円（前年同四半期比31.5%増）と増収となるも、セグメント損失（営業損失）は60百万円（前年同四半期はセグメント損失53百万円）となりました。

FATBURGER事業においては、渋谷店1店舗のみの店舗運営であることから、本社費用の負担がかさみ、売上高は38百万円、セグメント損失（営業損失）は26百万円となりました。

# 連結（セグメント別）売上高の推移



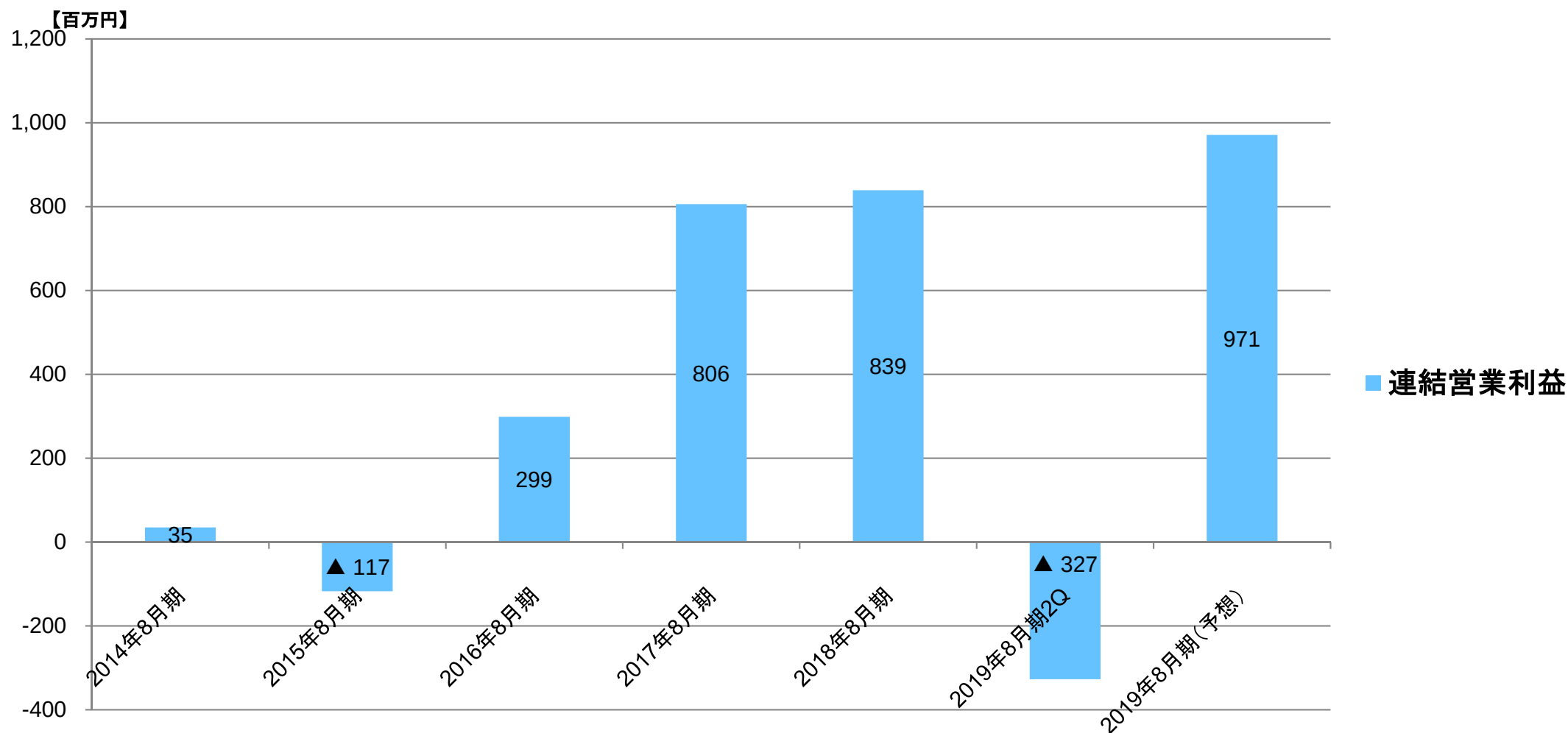
G Three Holdings



# 連結営業利益の推移



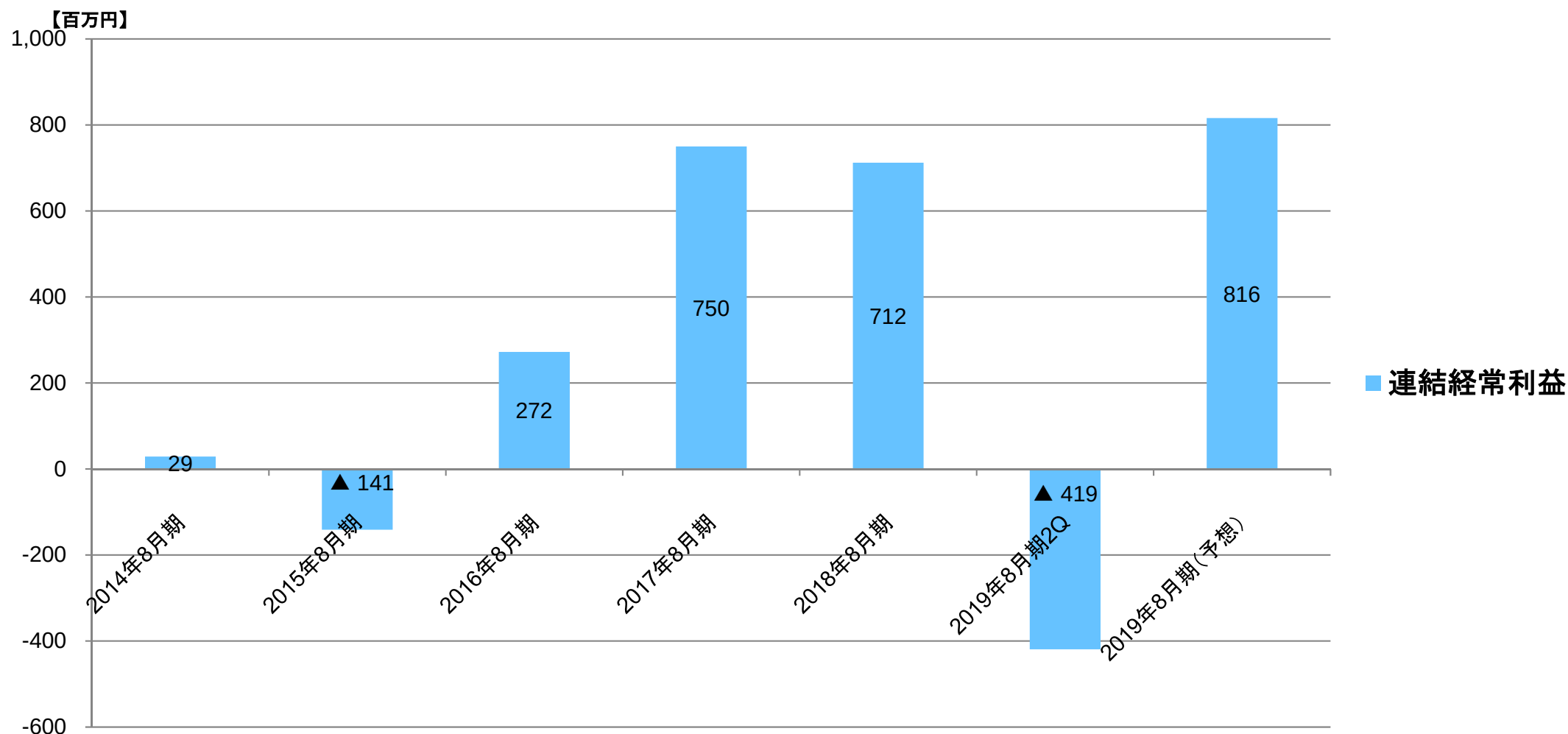
G Three Holdings



# 連結経常利益の推移



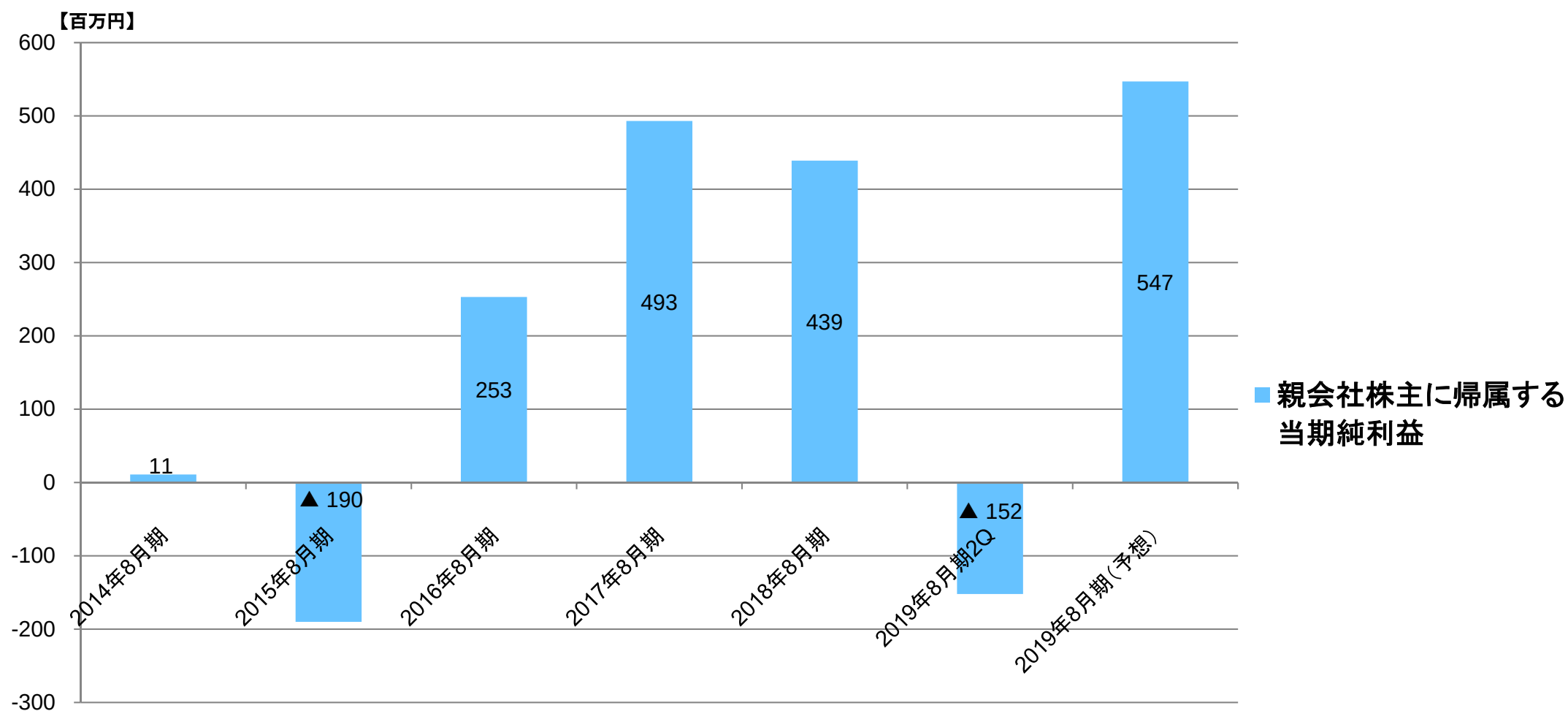
G Three Holdings



# 親会社株主に帰属する当期純利益の推移



G Three Holdings



# 2019年8月期第2四半期 連結B/Sサマリー



G Three Holdings

【百万円】

| 資産の部      | 2018年8月末 | 2019年2月末 | 増減      | 負債・純資産の部     | 2018年8月末 | 2019年2月末 | 増減      |
|-----------|----------|----------|---------|--------------|----------|----------|---------|
| 現金及び預金    | 668      | 561      | ▲ 106   | 買掛金          | 238      | 229      | ▲ 9     |
| 受取手形及び売掛金 | 1,316    | 666      | ▲ 650   | 短期借入金        | 790      | 340      | ▲ 449   |
| 商品及び製品    | 120      | 151      | 31      | 1年内返済予定長期借入金 | 288      | 225      | ▲ 63    |
| 仕掛販売用不動産  | 14       | 14       | 0       | 未払金          | 724      | 41       | ▲ 682   |
| 未収入金      | 30       | 41       | 11      | 前受金          | 1,289    | 218      | ▲ 1,071 |
| 前渡金       | 1,753    | 542      | ▲ 1,210 | 未払法人税等       | 182      | 13       | ▲ 168   |
| その他       | 147      | 279      | 132     | 設備関係未払金      | 295      | 489      | 194     |
| 貸倒引当金     | ▲ 12     | ▲ 3      | 9       | その他          | 228      | 89       | ▲ 139   |
| 流動資産合計    | 4,038    | 2,255    | ▲ 1,782 | 流動負債合計       | 4,037    | 1,646    | ▲ 2,390 |
| 有形固定資産合計  | 5,108    | 7,627    | 2,519   | 長期借入金        | 117      | 80       | ▲ 37    |
| 機械装置及び運搬具 | 4,479    | 7,344    | 2,865   | 長期未払金        | 33       | 32       | ▲ 1     |
| その他       | 629      | 283      | ▲ 346   | 資産除去債務       | 70       | 163      | 92      |
| 無形固定資産合計  | 14       | 715      | 701     | 長期設備関係未払金    | 3,466    | 6,751    | 3,285   |
| 敷金及び保証金   | 176      | 240      | 64      | その他          | 94       | 880      | 785     |
| 長期未収金     | 26       | 14       | ▲ 11    | 固定負債合計       | 3,782    | 7,907    | 4,125   |
| 出資金       | 254      | 132      | ▲ 122   | 負債合計         | 7,820    | 9,554    | 1,734   |
| 繰延税金資産    | 56       | 93       | 37      | 資本金          | 876      | 876      | 0       |
| その他       | 27       | 11       | ▲ 16    | 資本剰余金        | 497      | 497      | 0       |
| 貸倒引当金     | ▲ 13     | ▲ 2      | 11      | 利益剰余金        | 854      | 518      | ▲ 335   |
| 投資その他資産合計 | 527      | 489      | ▲ 37    | 自己株式         | ▲ 347    | ▲ 347    | 0       |
| 固定資産合計    | 5,650    | 8,833    | 3,182   | 株主資本合計       | 1,881    | 1,545    | ▲ 335   |
| 繰延資産合計    | 12       | 11       | ▲ 1     | 純資産合計        | 1,881    | 1,545    | ▲ 335   |
| 資産合計      | 9,701    | 11,099   | 1,398   | 負債純資産合計      | 9,701    | 11,099   | 1,398   |

資産合計は、前連結会計年度末から1,398百万円増加し11,099百万円となりました。これは主に機械装置及び運搬具が2,865百万円、のれん（無形固定資産）が701百万円増加し、受取手形及び売掛金が650百万円、前渡金が1,210百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末から1,734百万円増加し9,554百万円となりました。これは主に長期設備関係未払金が3,285百万円増加し、未払金が682百万円、前受金が1,071百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末から335百万円減少し1,545百万円となりました。これは利益剰余金が同額減少したことによるものです。

# 2019年8月期第2四半期連結キャッシュフロー



G Three Holdings

【百万円】

|                  | 2018年8月期第2四半期 | 2019年8月期第2四半期 |
|------------------|---------------|---------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 623           | 248           |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲204          | ▲722          |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲540          | 367           |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 389           | 461           |

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費201百万円、売上債権の減少額644百万円、前渡金の減少額1,210百万円の増加要因と、税金等調整前四半期純損失175百万円、前受金の減少額1,071百万円、未収消費税等の減少額259百万円、法人税等の支払額162百万円の減少要因により、営業活動による資金の増加は248百万円(前年同四半期は623百万円の資金の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に関係会社出資金の売却による収入292百万円、有形固定資産の売却による収入400百万円の増加要因と、有形固定資産の取得による支出1,235百万円等の減少要因により、投資活動による資金の減少は722百万円(前年同四半期は204百万円の資金の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主にセールアンド割賦バック取引による収入1,361百万円の増加要因と、短期借入金の減少額449百万円、割賦債務の返済による支出224百万円、配当金の支払額214百万円等の減少要因により、財務活動による資金の増加は367百万円(前年同四半期は540百万円の資金の減少)となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から106百万円減少し461百万円となりました。

# 2018年8月期通期業績予想について



G Three Holdings

## 連結業績

【百万円】

|                  | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 |
|------------------|-------|--------|--------|---------------------|
| 2018年8月期<br>連結実績 | 3,605 | 841    | 712    | 439                 |
| 2019年8月期<br>連結予想 | 6,263 | 971    | 816    | 547                 |

## 個別業績

【百万円】

|                  | 売上高   | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------|-------|------|-------|
| 2018年8月期<br>連結実績 | 1,874 | 658  | 475   |
| 2019年8月期<br>連結予想 | 4,699 | 753  | 712   |

当社グループは、2019年8月期においても、引き続き、当社、及びエコ・テクノサービスが展開する環境関連事業、並びにS B Yが展開するS B Y事業、そして、G M Fが展開するFATBURGER事業を当社グループの基幹事業として収益力の向上に取り組んでまいります。

さらに、既存事業とは別に既存事業から派生する、またはシナジーのある事業を、黒字基盤を前提とした堅実な成長戦略が描ける投資を行うことで立ち上げ、新たな収益源を確保することが当社グループの継続的発展につながり、当社グループの成長と独自のポジショニングを維持していくことができると確信しております。

以上により、2019年8月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高6,263百万円、営業利益971百万円、経常利益816百万円、親会社株主に帰属する当期純利益547百万円を見込んでいます。

また、個別業績の見通しにつきましては、売上高4,699百万円、経常利益753百万円、当期純利益712百万円を見込んでおります。



# 2019年8月期の配当予想について



G Three Holdings

|                  | 年間配当金  |        |        |       |       | 配当金総額<br>(合計) | 配当性向<br>(連結) | 純資産配当率<br>(連結) |
|------------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
|                  | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末    | 合計    |               |              |                |
|                  | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭   | 円 銭   | 百万円           | %            | %              |
| 2018年8月期<br>(実績) | —      | 0.00   | —      | 3.00  | 3.00  | 216           | 48.3         | 12.6           |
| 2019年8月期<br>(予想) | —      | 0.00   | —      | 15.00 | 15.00 | —             | 39.6         | —              |

当社は、株主への利益還元を常に重要課題として考えており、財政状態・業績・事業計画等を勘案し、株主への利益還元を実施していくことを配当の基本方針としております。

2019年8月期においては、当社個別の業績において、当期純利益は712百万円（連結業績における親会社に帰属する当期純利益は547百万円）を見込むことから、1株あたり15.00円の期末配当（連結配当性向39.6%）を予定しております。

また、当社は、2019年3月1日を効力発生日とする株式併合（普通株式5株を1株に併合）を実施しております。

2019年8月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

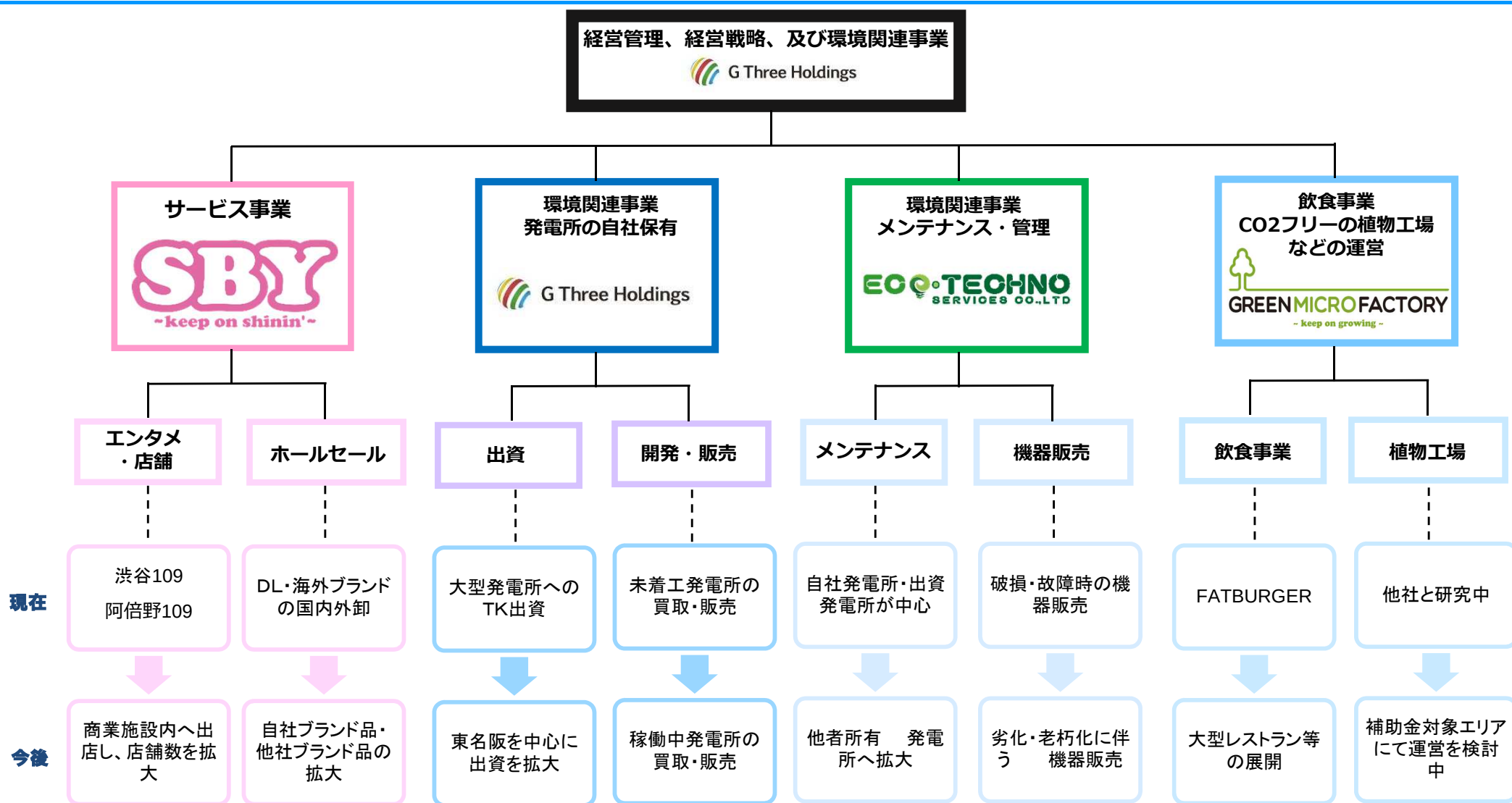
株式併合を考慮しない場合の2019年8月期（予想）の1株当たり期末配当金は3.00円になります。

# 今後の事業展開

# 今後の事業展開



G Three Holdings



その他、他業種の企業含め、当社事業とシナジーが期待出来る企業に対して、M&Aや資本提携を検討・推進



# 環境関連事業



# 株式会社ジー・スリーホールディングス

# ジー・スリーホールディングスの再生エネルギー事業概要

## ●未着工及び稼働済太陽光発電所の買取事業

当社あるいは当社が設立する合同会社が未着工及び稼働済太陽光発電所を買い取り、当社グループのノウハウをもとに事業計画を再構築し、パネルメーカー並びに建設会社等外部の協力を得て、開発あるいは再開発を進めることで太陽光発電所を国内全地域に建設し、当社グループの収益を見込むものです。

## ●太陽光発電所の運営、及び転売事業

当社は、固定資産として太陽光発電所を運営することで売電収入による長期的な安定収益を得る売電事業を行っております。一方で、販売用資産として太陽光発電所を取得し、収益を図る転売事業も行っております。

## ●太陽光発電システムの施工販売（完成販売）及び機器の仕入/販売事業

当社は、未着工の太陽光発電所において、太陽光発電システムの施工販売（完成販売）及び機器の仕入・販売事業を行っております。

## ●太陽光ファンドの組成事業

当社は、国内外の投資家とSPCを設立（GK・TKスキーム等）することによる太陽光ファンドによる組成事業を行ってまいります。それに伴う、ポートフォリオの入れ替えによって、更なる収益を生むスキームを作ってまいります。

## ●太陽光ファンドにおけるアセットマネジメント事業（ソーシング・アセットマネジメント・ディスポーザル）

当社は、ファンドのアセットマネジメント業務全般を受託し、川上から川下まで一貫したサービスの提供を行っております。

## 未着工太陽光発電所の概要

- ① 設備名称 三重県志摩市太陽光発電所
- ② 設置場所 三重県志摩市
- ③ 売電価格 32 円/kWh
- ④ 設置面積 194,724.80 m<sup>2</sup>
- ⑤ 設備出力 14,000kW (14MW)
- ⑥ 年間発電量 17,758MWh/年

当該太陽光発電所につきましては、当社は、設備認定及び接続権利、並びに開発権利を太陽光発電所の運用会社に継承するとともに、地元の調整等に関する業務を受託しております。また、当社子会社である株式会社エコ・テクノサービスは、運用会社に対して20年間のO & Mサービスを提供することを予定しております。

当社は、平成28年4月27日付「新たな事業（太陽光発電所の運営による売電事業）の開始に関するお知らせ」において、売電事業を開始し、合計10,000kW(10MW)規模の太陽光発電所の運営を行うことを目標とする旨を公表し、自社保有の発電所を取得してまいりました。

現時点での自社運営の発電所は約22,000kW（22MW）となっております。

現在、約30,000 kW（30MW）の開発案件に着手しており、国内外の投資家とSPCを設立（GK・TKスキーム等）することによる太陽光ファンドによる組成事業として進めております。

今後も積極的に自社における太陽光発電所の運営事業を行い、将来的には合計100MWの発電所の保有を目標とし、安定的な収益の確保を目指します。また、東名阪を中心とした電力需要の多いエリアにおいて発電所を保有する形に切り替え、抑制が起こりやすいエリアについては発電所の保有を控える予定です。

また、土地も自社保有することによって20年の買取期間が終了した後も発電事業を継続し、更に利益率を向上できるような事業形態をとる所存です。



当該太陽光発電所につきましては、当社において、エネルギー関連分野における投資効率を踏まえた資産運用の観点から、自社保有物件として運用し、電力会社に対する売電を行うことで当社の長期的な安定収益を見込んでおります。

また、当該太陽光発電所のO & M（発電所の保守・運営・管理）は、当社子会社である株式会社エコ・テクノサービスが行っております。

## 太陽光発電所運営事業の概要

- ①設備名称 G3HD第2長泉町太陽光発電所
- ②設置場所 静岡県駿東郡長泉町
- ③売電価格 36 円/kWh
- ④認定容量 1,700kW (1.7MW)
- ⑤設備出力 約 2,200kW (2.2MW)
- ⑥売電開始日 平成 29 年 3月 15日
- ⑦売電収入 約 95百万円/年



# 太陽光発電所の運営事業



G Three Holdings

当該太陽光発電所につきましては、当社において、エネルギー関連分野における投資効率を踏まえた資産運用の観点から、自社保有物件として運用し、電力会社に対する売電を行うことで当社の長期的な安定収益を見込んでおります。

当該太陽光発電所のO & M（発電所の保守・運営・管理）は、当社子会社である株式会社エコ・テクノサービスが行っております。

## 太陽光発電所運営事業の概要（田川発電所）

- ①設備名称 G3HD田川第1太陽光発電所
- ②設置場所 福岡県田川郡
- ③売電価格 40 円/kWh
- ④認定容量 1,990kW (1.99MW)
- ⑤設備出力 約2,837kW (2.83MW)
- ⑥売電開始日 平成 29 年 4 月～（平成 26 年 11 月から売電中）
- ⑦売電収入 約 140百万円/年

- ①設備名称 G3HD田川第2太陽光発電所
- ②設置場所 福岡県田川市
- ③売電価格 40 円/kWh
- ④認定容量 1,990kW (1.99MW)
- ⑤設備出力約2,837kW (2.83MW)
- ⑥売電開始日 平成 29 年 4 月～（平成 26 年 11 月から売電中）
- ⑦売電収入 約 140百万円/年



## 太陽光発電所運営事業の概要（岩崎発電所）

- ①設備名称 G3HD岩崎第1太陽光発電所
- ②設置場所 福岡県嘉麻市
- ③売電価格 40 円/kWh
- ④認定容量 994kW (0.994MW)
- ⑤設備出力 約 1,192kW (1.19MW)
- ⑥売電開始日 平成 29 年 4 月～（平成 26 年 11 月から売電中）
- ⑦売電収入 約 60百万円/年

- ①設備名称 G3HD岩崎第2太陽光発電所
- ②設置場所 福岡県嘉麻市
- ③売電価格 40 円/kWh
- ④認定容量 1,988kW (1.98MW)
- ⑤設備出力 約 2,384kW (2.28MW)
- ⑥売電開始日 平成 29 年 4 月～（平成 26 年 11 月から売電中）
- ⑦売電収入 約 116百万円/年





# 太陽光発電所の運営事業



G Three Holdings

当該太陽光発電所につきましては、売却を目的とした販売用資産として保有していたものですが、固定資産として保有物件を運営することにより、売電収入による長期的な安定収入を得ることの方がメリットが大きいと判断し、当社にて自社保有案件として運営することといたしました。

また、当該太陽光発電所のO & M（発電所の保守・運営・管理）は、当社子会社である株式会社エコ・テクノサービスが行っております。

## 太陽光発電所運営事業の概要（青森発電所）

- ①設備名称 八戸市市川メガソーラー発電所
- ②設置場所 青森県八戸市
- ③売電価格 40 円/kWh
- ④認定容量 1,000kW（1.0MW）
- ⑤設備出力 約 1,008kW（1.0MW）
- ⑥売電開始日 平成 27 年 4 月～
- ⑦売電収入 約 36 百万円/年



- ①設備名称 八戸市櫛引太陽光発電所
- ②設置場所 青森県八戸市
- ③売電価格 40 円/kWh
- ④認定容量 898.5kW（0.89MW）
- ⑤設備出力 約 898.5kW（0.89MW）
- ⑥売電開始日 平成 27 年 4 月～
- ⑦売電収入 約 39 百万円/年



当該太陽光発電所につきましては、当社において、エネルギー関連分野における投資効率を踏まえた資産運用の観点から、自社保有物件として運用し、電力会社に対する売電を行うことで当社の長期的な安定収益を見込んでおります。

当該太陽光発電所のO & M（発電所の保守・運営・管理）は、当社子会社である株式会社エコ・テクノサービスが行います。

## 太陽光発電所運営事業の概要

- ①設備名称 福津太陽光発電所
- ②設置場所 福岡県福津市
- ③売電価格 40円/kWh
- ④認定容量 5,000kW (5.0MW)
- ⑤設備出力 約 5,800kW (5.8MW)
- ⑥売電開始日 平成 30年 2月 1日
- ⑦売電収入 約 250百万円/年



**当社は、売電事業による長期的な収益を得るだけでなく、販売用物件として短期的に効率の良い収益を確保する事業形態もっております。**

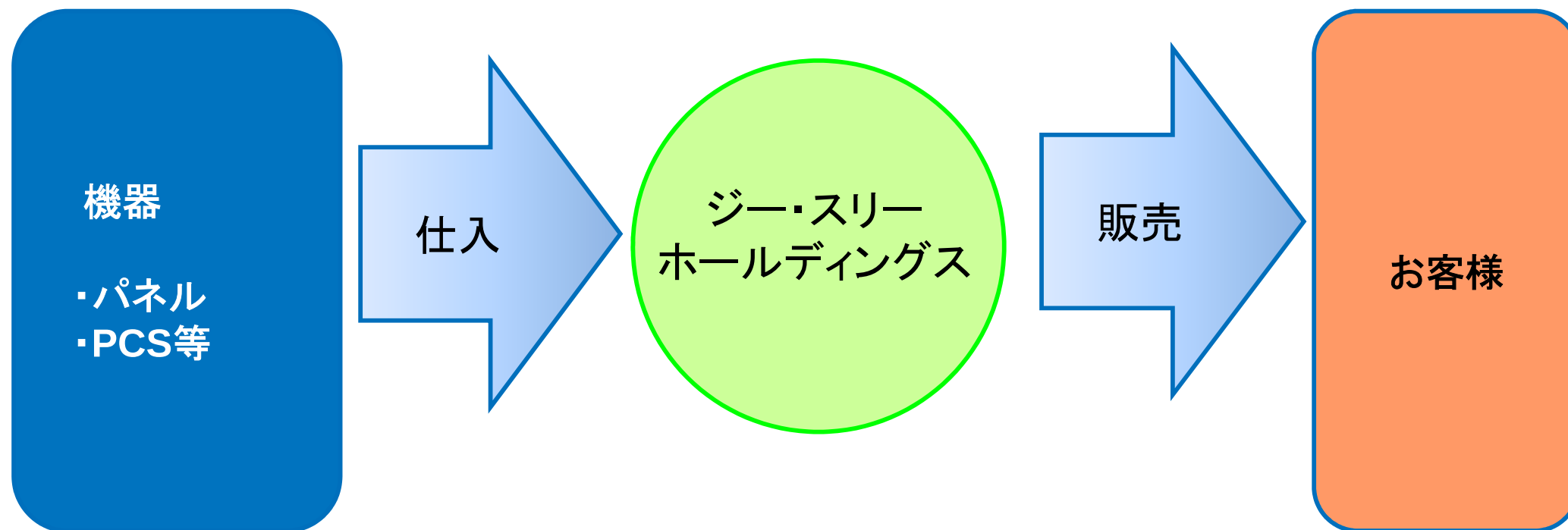
当該太陽光発電所につきましては、売却後も、当該太陽光発電所のO & M（発電所の保守・運営・管理）は、当社子会社である株式会社エコ・テクノサービスが行う予定です。

## 太陽光発電所運営事業の概要

- ①設備名称 北海道登別市富岸町MS発電所
- ②設置場所 北海道登別市
- ③売電価格 27円/kWh
- ④認定容量 1,829kW (1.82MW)
- ⑤設備出力 2,273.4kW (2.27MW)
- ⑥売電開始日 平成 31年 3月

その他、未公表分の販売用物件の買取を行っております。

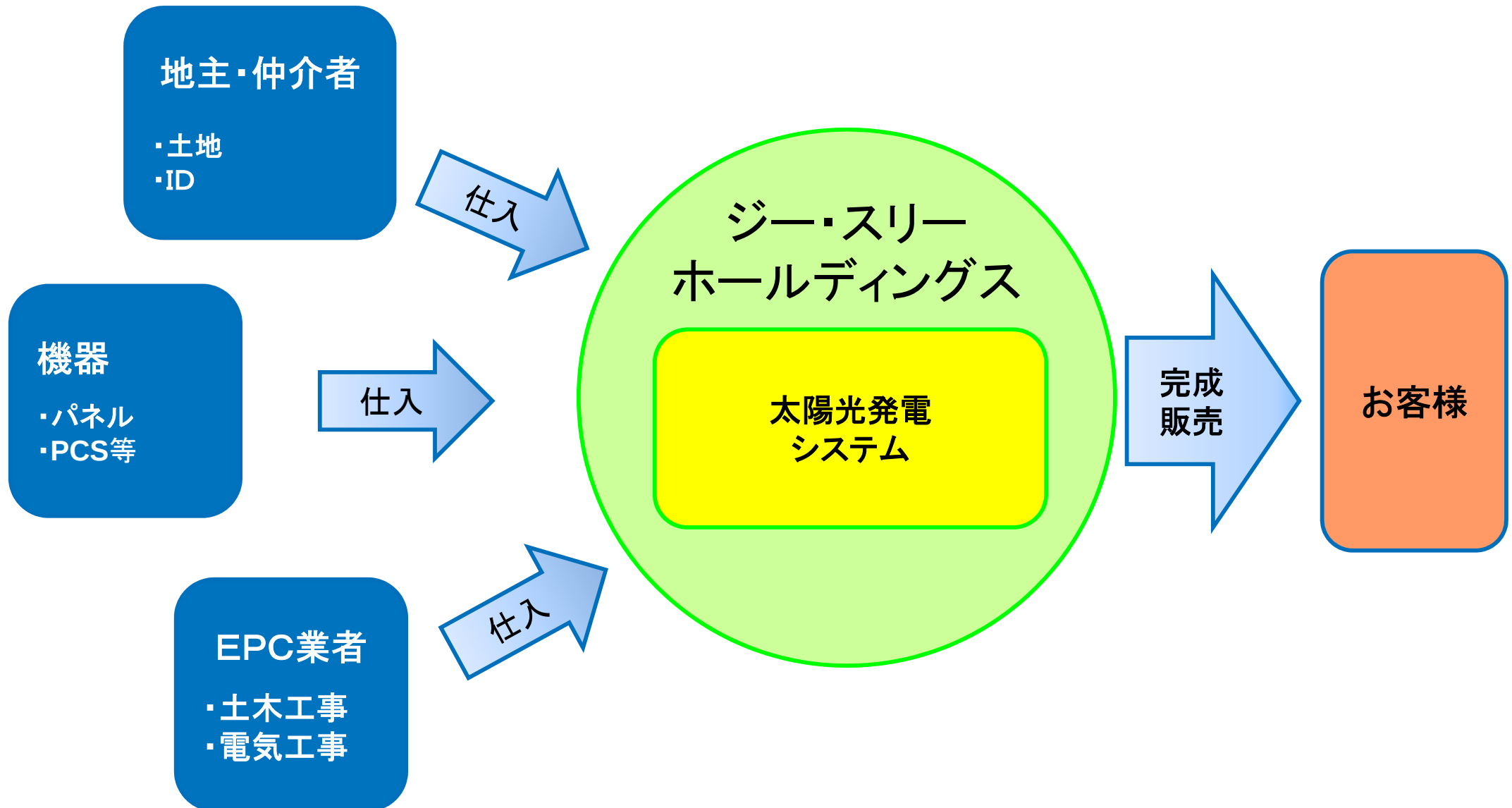




太陽光パネル、PCS等の太陽光発電商材の販売につきましては、2018年8月期で、ソーラーフロンティアやJinko製のパネルを約8,700kw、デルタ電子製PCSを約4,600kw販売致しました。

また、2019年度内でカナディアン製のパネルを約10,000 k W販売することを見込んでおります。

# 太陽光発電システムの施工販売（完成販売）





# 太陽光発電システムの施工販売（完成販売）

## 完成販売の一例

### 太陽光発電所運営事業の概要

- ①設置場所 千葉県八街市
- ②売電価格 24円/kWh
- ③認定容量 360kW（0.36MW）
- ④設備出力 約475kW（0.47MW）
- ⑤売電開始日 平成 30年 9 月～  
※平成30年8月完成・引渡済



# 太陽光発電システムの施工販売（完成販売）



G Three Holdings

## 完成販売の一例

### 太陽光発電所運営事業の概要

- ①設置場所 滋賀県甲賀市
- ②売電価格 32 円/kWh
- ③認定容量 1,980kW（1.98MW）
- ④設備出力 約2,654kW（2.65MW）
- ※ 平成 30年 10 月 完成引渡済



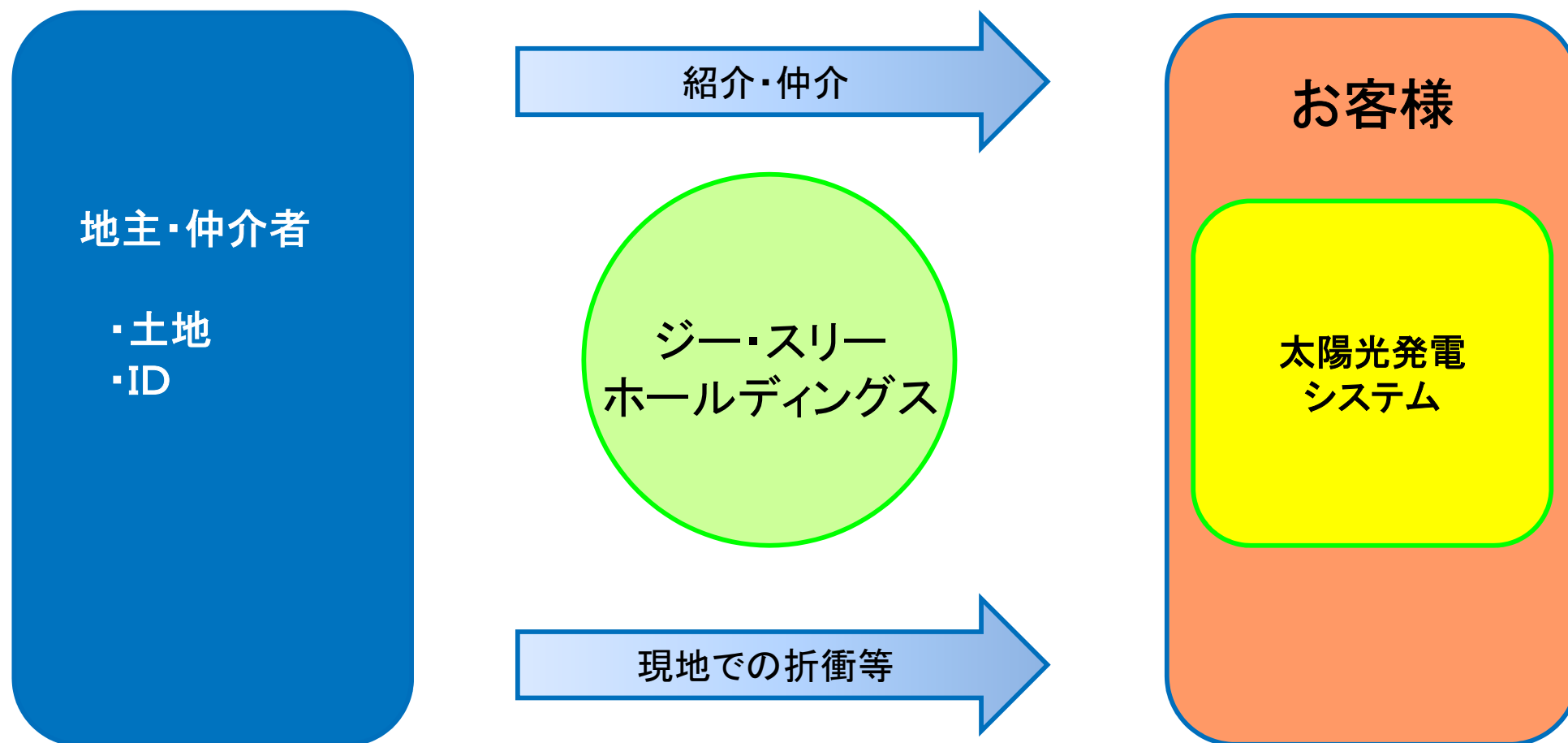


## 完成販売の一例

### 太陽光発電所運営事業の概要

- ①設置場所 滋賀県甲賀市
- ②売電価格 32 円/kWh
- ③認定容量 1,980kW (1.98MW)
- ④設備出力 約2,904kW (2.90MW)
- ※ 平成 30年 11 月 完成引渡済





稼働済  
太陽光発電所

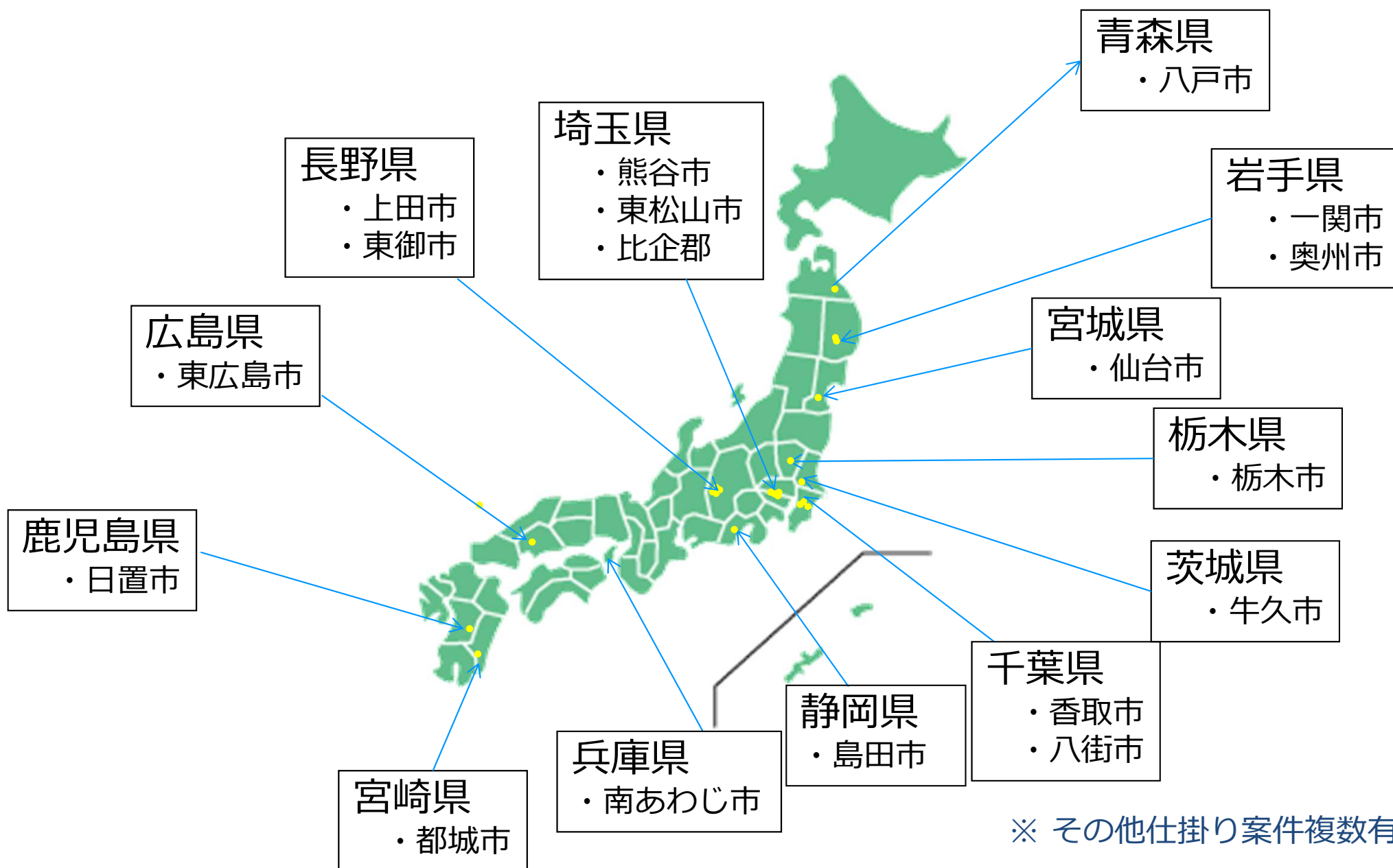
仕入

ジー・スリー  
ホールディングス

販売

地方有力企業  
大手有力企業  
ファンド

点検・補修



※ その他仕掛け案件複数有り



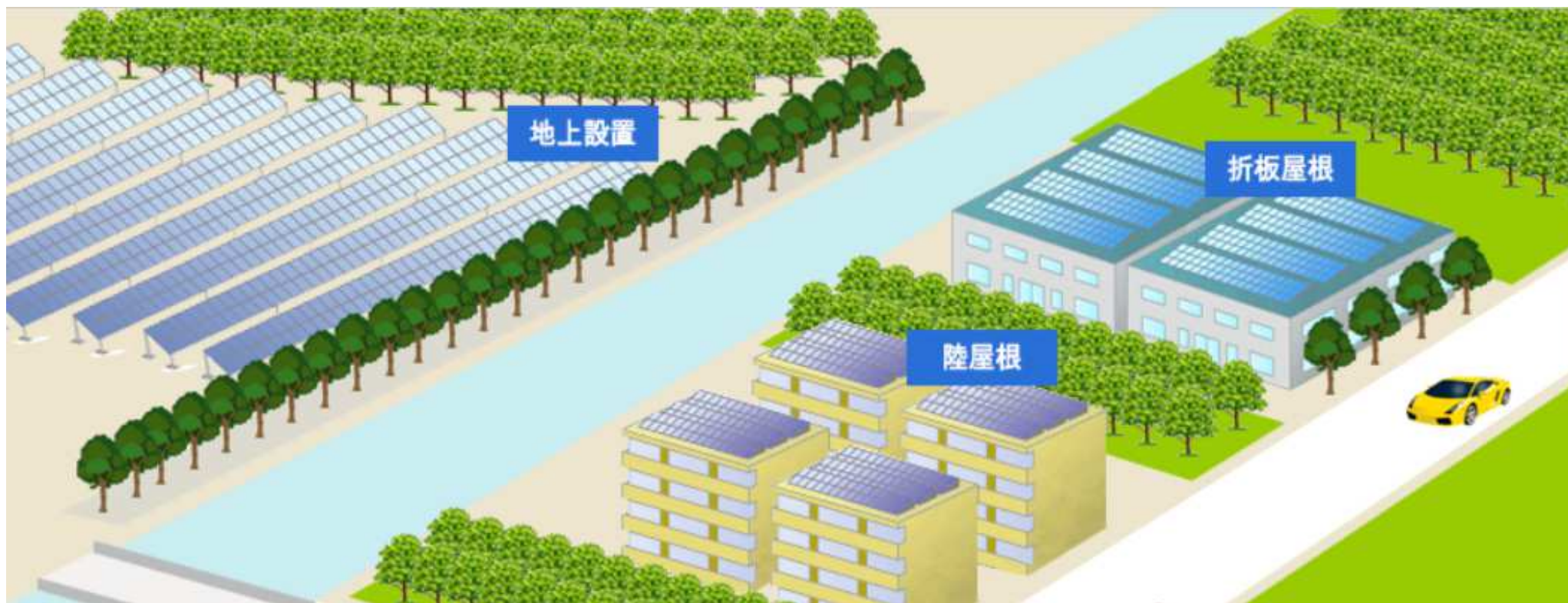
# 再生エネルギー関連事業の今後の展開（海外）



G Three Holdings

今後、アジア諸国を中心に、海外太陽光発電所事業へ積極的に投資することを検討しております。

工場屋根・敷地、商業施設、公共施設などに発電所を建設する計画をしております。







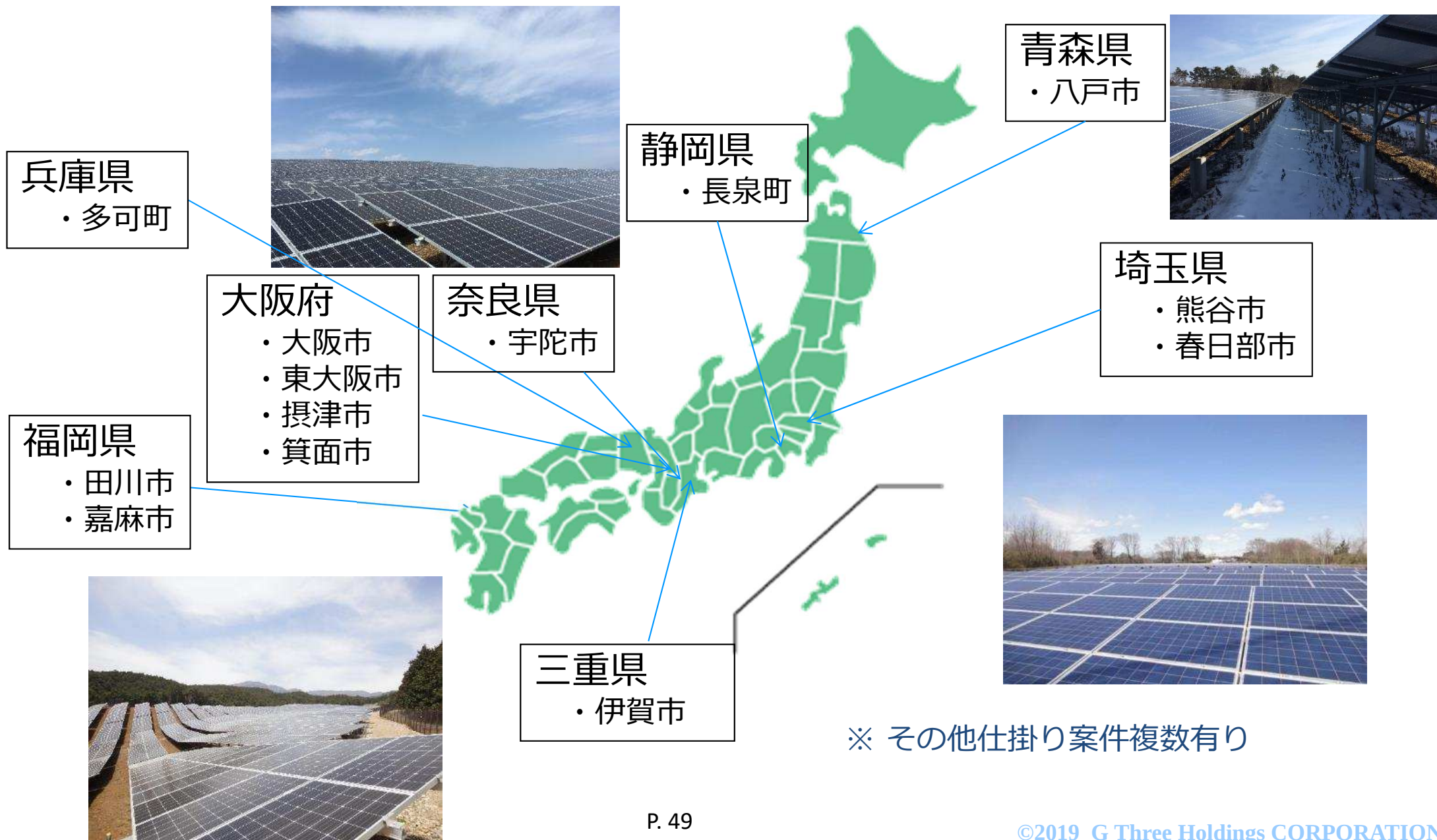
# 株式会社エコ・テクノサービス

## ① 保守管理（O&M）サービスの普及



### ◆資格一覧◆

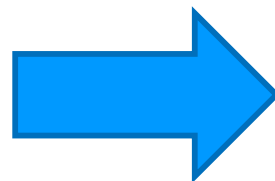
- |                |              |
|----------------|--------------|
| ①電気主任技術者第1種：1名 | ②宅地建物取引士：3名  |
| 電気主任技術者第2種：2名  | ③第一種電気工事士：1名 |
| 電気主任技術者第3種：1名  |              |



## 除草・草刈り作業の一例

### 太陽光発電所の概要

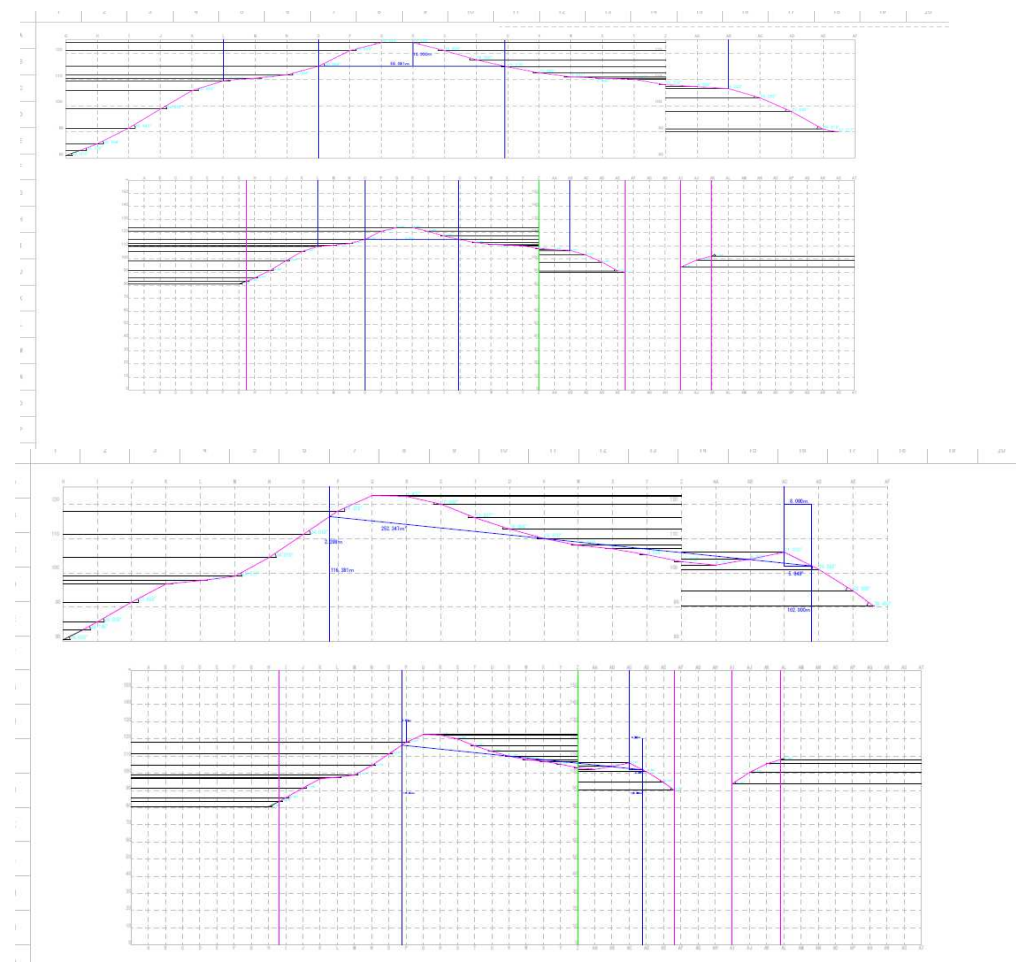
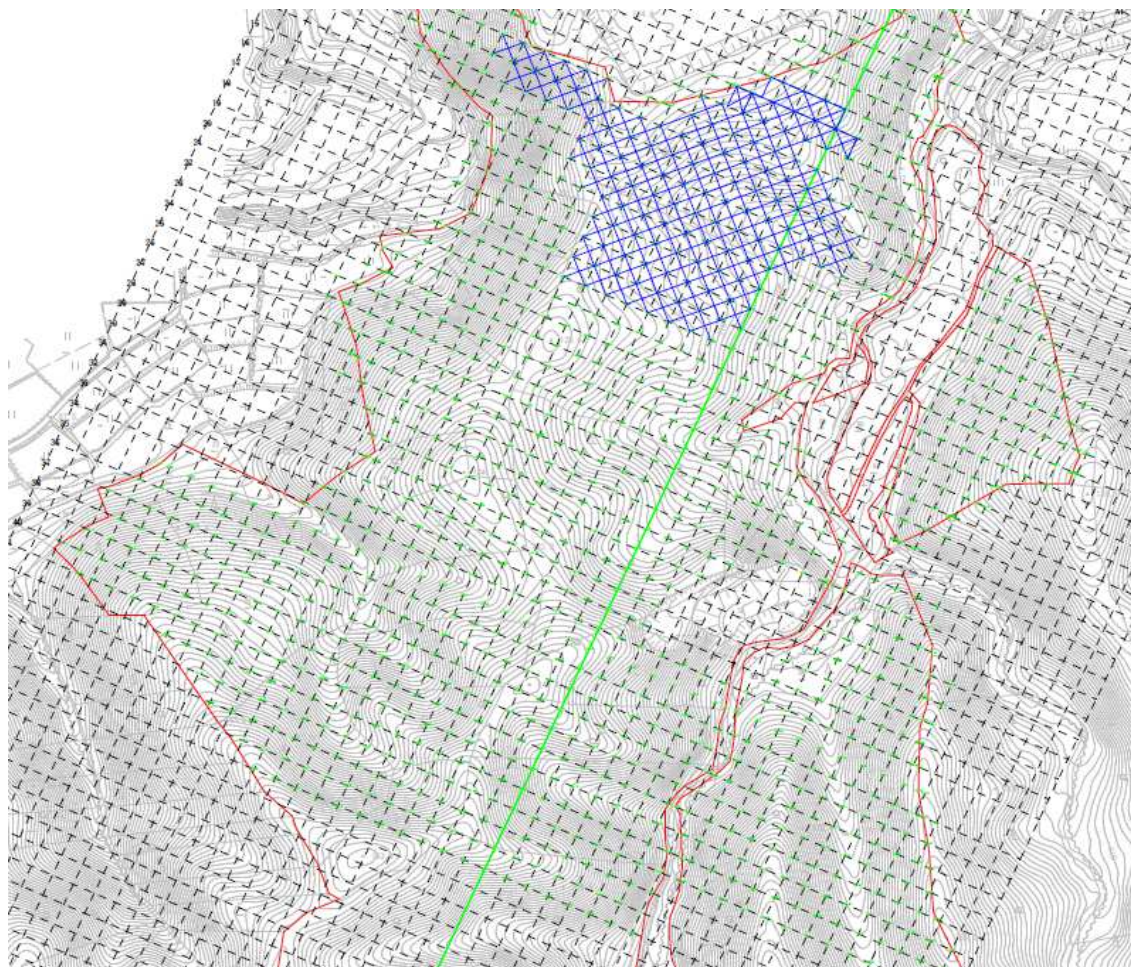
- ①設置場所 埼玉県比企郡吉見町
  - ②設置面積 14,370 m<sup>2</sup>
  - ③認定容量 1000.0kW (1.0MW)
  - ④設備出力 1015.5kW (1.01MW)
- 平成28年3月 売電開始





## 設計業務

土木造成・電気工事・開発許認可を見据え総合的に設計



# SBY事業





**SBY Co.,Ltd.**

**株式会社 S B Y の事業概要**

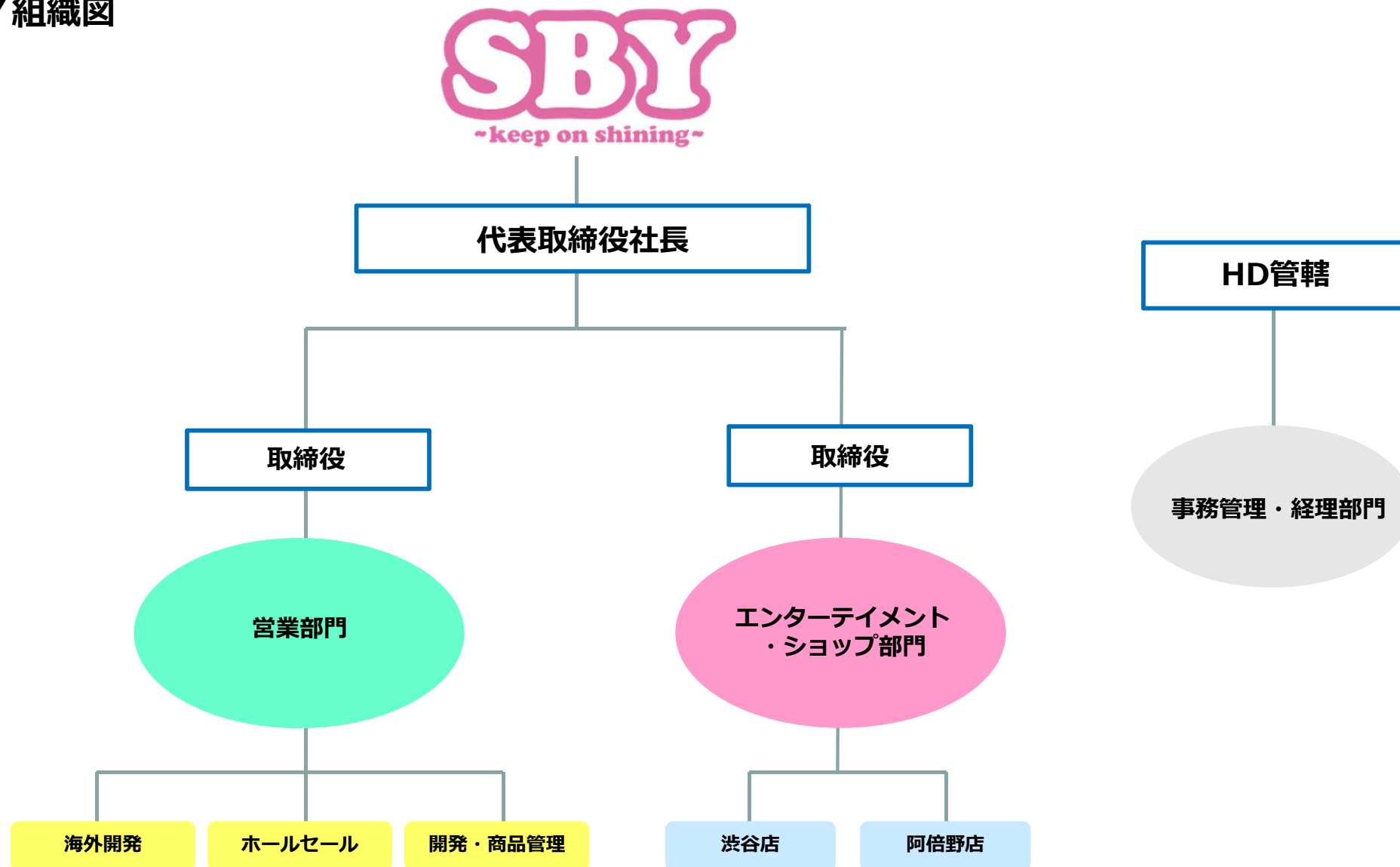
- 2017年12月 : SBY渋谷109店リニューアルオープン
- 2017年12月 : Diamond Lash つけまつ毛新商品 PINKシリーズ発売
- 2017年12月 : Diamond Lash JR山手線車体ラッピング広告実施
- 2017年12月 : Diamond Lash 109フォーラムビジョン放映開始
- 2018年 7月 : 16brand 発売
- 2018年 7月 : Diamond Lash つけまつ毛新商品 GRN・ORG・BLUシリーズ発売
- 2018年 7月 : Diamond Lash 「コスモプロフ北米 2018 年」に出展
- 2018年 8月 : Duft&Doft 発売
- 2018年10月 : 「スイーツマラソンin長野」 イベント運営
- 2018年11月 : 「スイーツマラソンin愛知」 イベント運営
- 2018年11月 : 「V R 忍者道場」 IAAPA (米国・オーランド) 出展サポート実施
- 2019年 1月 : 「スイーツマラソンin東京」 イベント運営
- 2019年 2月 : 「V R 忍者道場」 P R 実施

# SBY組織の説明



G Three Holdings

## SBY組織図



## 事業紹介

### ー営業部門

#### ＜ホールセール＞

化粧品・雑貨などをお取り扱いの企業様に対して、自社アイテムだけでなく国内メーカー様、海外輸入品まで、お客様に合わせたアイテムの卸しサービス、お客様に合わせた商品ご提案などのトータルサービスを行う。また、他社ブランドの専売契約なども行う。

#### ＜自社ブランド運営＞

自社商品全体の製造管理・新商品企画の立案・自社新商品デザインの進行、ブランド戦略・プレス・イベントの企画・新商品企画の立案を行う。またブランドホルダーとしてのライセンス管理・販路先の交通整理を行う。

### ーエンターテイメント・ショップ部門

#### ＜エンターテイメント＞

店舗型情報発信スペースを提供し若い女子の心をつかむエンタテインメントを発信するサービス・自社企画・他社企画提案含め立案し情報を配信して行くサービスを行う。

#### ＜ショップ運営＞

渋谷にあこがれる全国の女子中高生、20歳～34歳（F1層）の女性をターゲットにしたコスメ、カラコン、雑貨セレクトショップ、カフェの運営。  
ヒト・モノ・コトを通じ店舗から情報発信を行うチーム。



# 営業部門

- ホールセール
- 自社ブランド運営

# 営業部門－ホールセール（取り扱いブランド）

## 他社ブランド紹介



発売：2018年7月～



発売：2018年8月～



発売：2019年予定



発売：2019年4月～



発売：2019年予定



# 営業部門－ホールセール



G Three Holdings

## 販売チャネル



開始わずか6ヶ月で**1,500店舗突破！**

**世界の最新トレンドメイクを中心に新たなマーケットを創出！  
世界中の女性はもっとキレイになれる！**

**日本**のトレンドメイクを  
**世界**の女性に届けたい！



Diamond Lash  
—魔法のつけま—

**世界**のトレンドメイクを  
**日本**の女性に届けたい！



# 営業部門－自社ブランド運営（Diamond Lash）

## つけまつげブランド Diamond Lash

▶2009年秋の発売時から9年間で累計販売個数1,700万個を販売している、日本のTOPブランド

つけまつげの国内市場規模は2014年の100億円規模、2015年で80億円、2016年には60億円規模に縮小。  
2016年以降60億円の市場規模を縮小することなくKEEPされている。



Diamond Lashは現在56種類。毎年1種類以上の新製品をリリースし続け、一貫した製品イメージを作り上げ、戦略的な営業アプローチで取扱店舗数を堅持しており、マーケット全体が縮小の中にあっても業界TOPシェアをKEEP。

▶平成27年12月にDiamond Lashブランドの「コスメコンタクト®レンズ」を発売し収益貢献。



イメージモデル：加治ひとみ



Diamond Lash   
—魔法のつけま—



Diamond Lash   
—COSME CONTACT—

つけまつげブランド「Diamond Lash」から



コスメブランド「Diamond Lash」へ

Diamond Lash  
COSMETICS



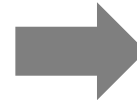
※イメージです

# 営業部門－自社ブランド運営（Diamond Lash）

## ブランド戦略

- ▶ ライセンス事業から自社で製造販売元となるメーカー事業に。  
⇒ **2018年9月より** 発売元SBYの裏面シールに変更し、販売。

ライセンス事業



メーカー事業

他社発売元

自社発売元

**現在3,500店舗に流通**

**2019年にはコスメブランドDiamond Lashを  
ブランド棚として設置**

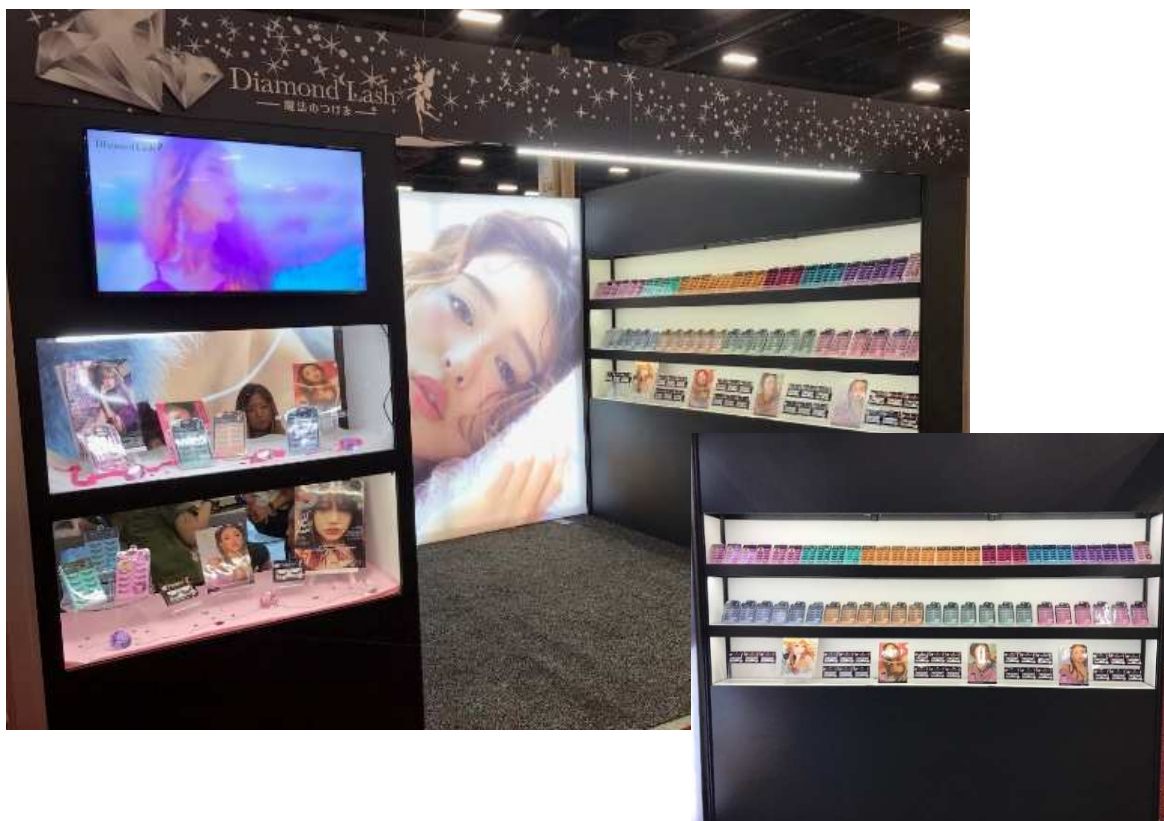


# 営業部門－自社ブランド－海外戦略（Diamond Lash）

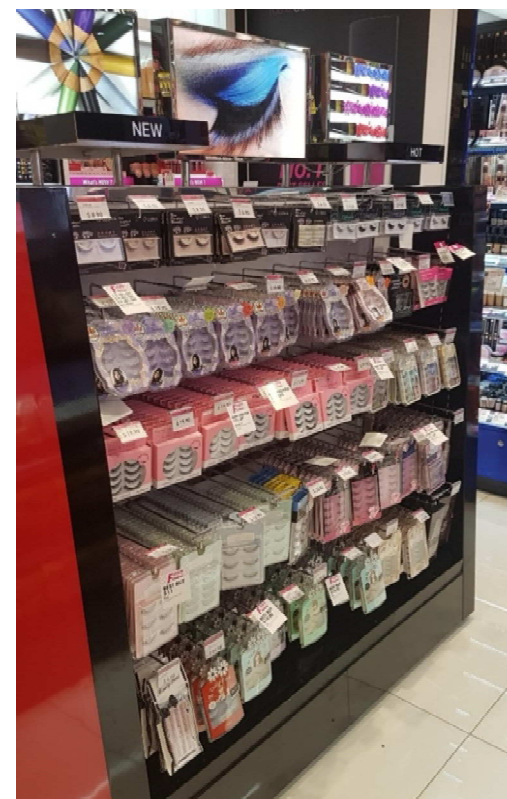
## ▶ 海外の展示会の参加や海外展開を実施

17<sup>TH</sup> EDITION  
**COSMOPROF**  
NORTH AMERICA LAS VEGAS

### 7月に開催された「コスモプロフ北米 2018 年」出展



### SASAシンガポールストアにて商品展開





# 営業部門－自社ブランド－海外戦略（Diamond Lash）

## ▶海外用商品開発、企画、マーケティング



※イメージです

- 大手問屋とタッグを組み、各国にあった流通展開の取り組みを開始

 **PALTAC**

 **Atlas**  
GENERAL INNOVATOR

特にアメリカ市場にては、アジア系コスメ市場における圧倒的シェア、アジア系人種の高い購買力をターゲットに、アジア系マーケットで展開中

欧米諸国の他、急成長を続ける東アジアエリアを中心に展開予定:

香港、中国、台湾、韓国、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム

# 営業部門－自社ブランド－海外戦略（Diamond Lash）





# エンターテイメント・シヨップ部門

-店舗運営

-イベントプロデュース・運営

# エンターテインメントー店舗運営 (SBY)



G Three Holdings

## ① SBYに訪れる来客数

- ・毎月30,000人、年間で400,000人がSBYに来店！



## ② SBY店内でのレジ通過人数

- ・繁忙期：3月、8月  
年間レジ通過人数109内で1位！



## ③ SBY店内のメイクコーナーでの利用数

- ・1日500人、年間で150,000人が利用！  
お店OPEN～CLOSEまで常に満席！



## ④ SBYのTV番組取り上げ数

- ・109内で初！トータル100番組以上にSBYがTVに露出！



SHIBUYA109 8Fに位置する  
常に最新の  
ヒト・モノ・コト  
に出会える  
「渋谷の情報発信基地」

## ⑤ 経済系新聞での取り上げ数

- ・teen誌、ファッション誌以外にも経済系新聞に10誌以上も取り上げられ、ギャル文化を広めました。



## ⑥ SBY店内でのイベント数

- ・月2回前後のイベント実施  
現在まで100回以上のイベントを開催！



## ⑦ アニバーサリー時にモデルが お祝い駆けつけする人数

- ・毎年1日100名以上！



## ⑧ SBYで働いて有名になった人の人数

- ・小森純を筆頭に7名以上がタレントやモデルとして活躍している！



小森純

宮城舞



# エンターテインメントー店舗運営 (SBY)



G Three Holdings

## ⑨現在までのモデル来店数

- ・2010年～現在まで10,000人以上のモデル達が来店！



## ⑩SBYから生み出されたヒット商品はコスメ、雑貨、飲食を含め7品以上！



つけまつげ カラコン シュシュ キーチャーム タビオカ

## ⑪渋谷109内でのSBYの立ち位置

- ・109内ではアパレルブランドを除外すると売上2位を2010年～現在まで継続中！
- 109の8Fでのシャワー効果で館内の集客の要となっている。



## ⑫海外セレブやアーティストが来日した際のお立ち寄りスポットとしても有名！

- ・ヒルトン姉妹・ミラジョボビッチ・KARA・KESHA・アヴリルラヴィーン等



## ⑬外国人観光客売上、集客人数

- ・109内ではアパレルブランドを除外すると免税売上NO.1！ 銀聯カード売上は館内NO.1！



## ⑭109初！人口知能スタッフ雇用！

- ・人員の効率化、より多くのデータ収集や分析が可能になり、さらなるお客様サービスの向上へ。



## ⑮SBY×●●コラボカフェ

- ・人気絶頂アニメやアーティスト、アイドル等多数コラボ！！
- ホイッスル！、ラブライブ、バックマン、SOLIDEMO、WACK等



## ⑯SNS連動型VISONで情報発信！

- ・SBY公式のSNSや設定したSNSとビジョンを連動させることで効果的なO2Oプロモーションが可能に！



## ⑰海外最新コスメをいち早く販売！

- ・SNSで話題の人気韓国コスメやこれから流行る韓国コスメをいち早く販売！



# エンターテインメントーイベント・PR事業



G Three Holdings

▶国内イベント、海外イベントの企画・制作・運営や店舗型情報発信スペースを提供し若い女子の心をつかむエンタテインメントを発信するサービスを行う。

⇒2018年「スイーツマラソン（10月 長野、11月 東京お台場）」を実施。

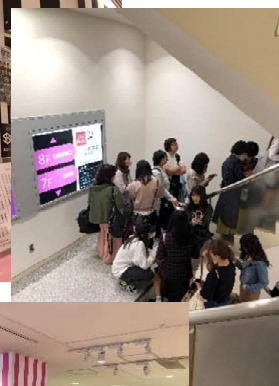
⇒2019年「VR忍者道場」PR実施



## 忍者道場PR



## コラボカフェ





# FATBURGER事業



G Three Holdings



**株式会社Green Micro Factory**

# 渋谷店はグランドオープンから7.5万人以上のお客様が来店

## ◆渋谷店の実績◆

- 2018年4月28日のオープンから7.5万人以上のお客様にご来店いただきました。
- 日本限定ハンバーガーとドリンクを各6種類「期間限定で販売」大勢のお客様にご好評をいただいています。
- 2019年3月7日から Uber Eatsによるデリバリー販売を始めました。
- LINEの友達登録数が12,300人を突破しました。
- 「NHKワールド」「満足！トレンドナビ」「東京×春たび」等々、多数のメディアに当店が紹介されました。





# MAGNET BY SHIBUYA109と様々なコラボイベントを実施

## 水溜りボンド × MAG7 COLLABORATION MENU

期間限定 4.28 SUN - 5.8 WED @7F MAG7

|                                                                            |                                                                 |                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| <b>SHIBUYA PARLOR</b><br>カンタのカルボナーラとトニーのハンバーグ<br>¥2,700 (税込)<br>MIZUTAMARI | <b>SHIBUYA PARLOR</b><br>マンゴーウーレーの思い出<br>¥750<br>MIZUTAMARI     | <b>The ぎよるびー</b><br>濃厚甘酸っぱいソーフロート<br>¥700<br>MIZUTAMARI    |
| <b>らんまん食堂</b><br>黒糖コーラ<br>¥750 (税込)<br>MIZUTAMARI                          | <b>The ぎよるびー</b><br>最後にごきよるびーオムライス<br>¥1,200 (税込)<br>MIZUTAMARI | <b>らんまん食堂</b><br>からあげのからあげのからあげのからあげ<br>¥680<br>TOKAI UNAR |
| <b>SHIBUYA PARLOR</b><br>女王の焼きリンゴタルト<br>¥1,000 (税込)<br>PAOPAO              | <b>おにぎりBar 渋谷園</b><br>コーヒ、生クリーム、海苔<br>¥700<br>MIZUTAMARI        | <b>FATBURGER</b><br>カマンベールチーズバーガー<br>¥700<br>MIZUTAMARI    |

## COLLABORATION CAFE

46 日向坂 期間限定 3.26 TUE - 4.7 SUN @7F MAG7

|                                              |                                                   |                                           |
|----------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| <b>FATBURGER</b><br>キウキキキキキキキキキ<br>¥650 (税込) | <b>SHIBUYA PARLOR</b><br>キウキキキキキキキキキ<br>¥650 (税込) | <b>らんまん食堂</b><br>チョコレート LOVE<br>¥650 (税込) |
| <b>ご馳走そば そら</b><br>ご馳走そば<br>¥650 (税込)        | <b>おにぎりBar 渋谷園</b><br>おにぎりBar<br>¥650 (税込)        | <b>The ぎよるびー</b><br>ごきよるびー<br>¥650 (税込)   |

## IZ\*ONE collaboration menu

2/5 - 2/24 までの期間限定 7F MAG7

|                                                        |                                                          |
|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| <b>らんまん食堂</b><br>IZ*ONE ~ほろ苦カフェカ~<br>¥650 (税込)         | <b>FATBURGER</b><br>IZ*ONE ~ホワイトチョコベリー~<br>¥650 (税込)     |
| <b>ご馳走そば そら</b><br>IZ*ONE ~ストロベリーPINK~<br>¥650 (税込)    | <b>SHIBUYA PARLOR</b><br>IZ*ONE ~ベリーベリーチティ~<br>¥650 (税込) |
| <b>おにぎりBar 渋谷園</b><br>IZ*ONE ~ダビオカチョコミルク~<br>¥650 (税込) | <b>The ぎよるびー</b><br>IZ*ONE ~HAPPYココア~<br>¥650 (税込)       |

上記メニューのうち1つご注文につきオリジナルコースターを1枚プレゼント！  
※数量はなくなり次第終了となりますので予めご了承ください。



## nct127 collaboration menu

1/2 - 1/20 までの期間限定 7F MAG7

|                                                         |                                                       |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| <b>らんまん食堂</b><br>NCT127 レモンフロート<br>¥650 (税込)            | <b>FATBURGER</b><br>NCT127 パンコチキン<br>¥650 (税込)        |
| <b>ご馳走そば そら</b><br>NCT127 フルーツC<br>¥650 (税込)            | <b>SHIBUYA PARLOR</b><br>NCT127 フルーツC<br>¥650 (税込)    |
| <b>おにぎりBar 渋谷園</b><br>NCT127 Tapioca Drink<br>¥650 (税込) | <b>The ぎよるびー</b><br>NCT127 Tapioca Drink<br>¥650 (税込) |

ドリンク1杯ご注文ごとに、コースター(¥100)とストローダマ1枚プレゼント！  
※数量はなくなり次第終了となりますので予めご了承ください。

ニューのうち1つご注文につきオリジナルコースターを1枚プレゼント！  
※数量はなくなり次第終了となりますので予めご了承ください。



## TOHOSHINKI 109 Xmas COLLABORATION MENU 7F MAG7

11/22 - 12/25 までの期間限定

|                                                 |                                                     |
|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <b>おにぎりBar 渋谷園</b><br>Song of love<br>¥650 (税込) | <b>SHIBUYA PARLOR</b><br>Sound of love<br>¥650 (税込) |
| <b>FATBURGER</b><br>明日来るシイタケ<br>¥1,000 (税込)     | <b>らんまん食堂</b><br>TOMORROW<br>¥650 (税込)              |
| <b>ご馳走そば そら</b><br>Jungleキキ<br>¥650 (税込)        | <b>The ぎよるびー</b><br>Tastyキキ<br>¥650 (税込)            |

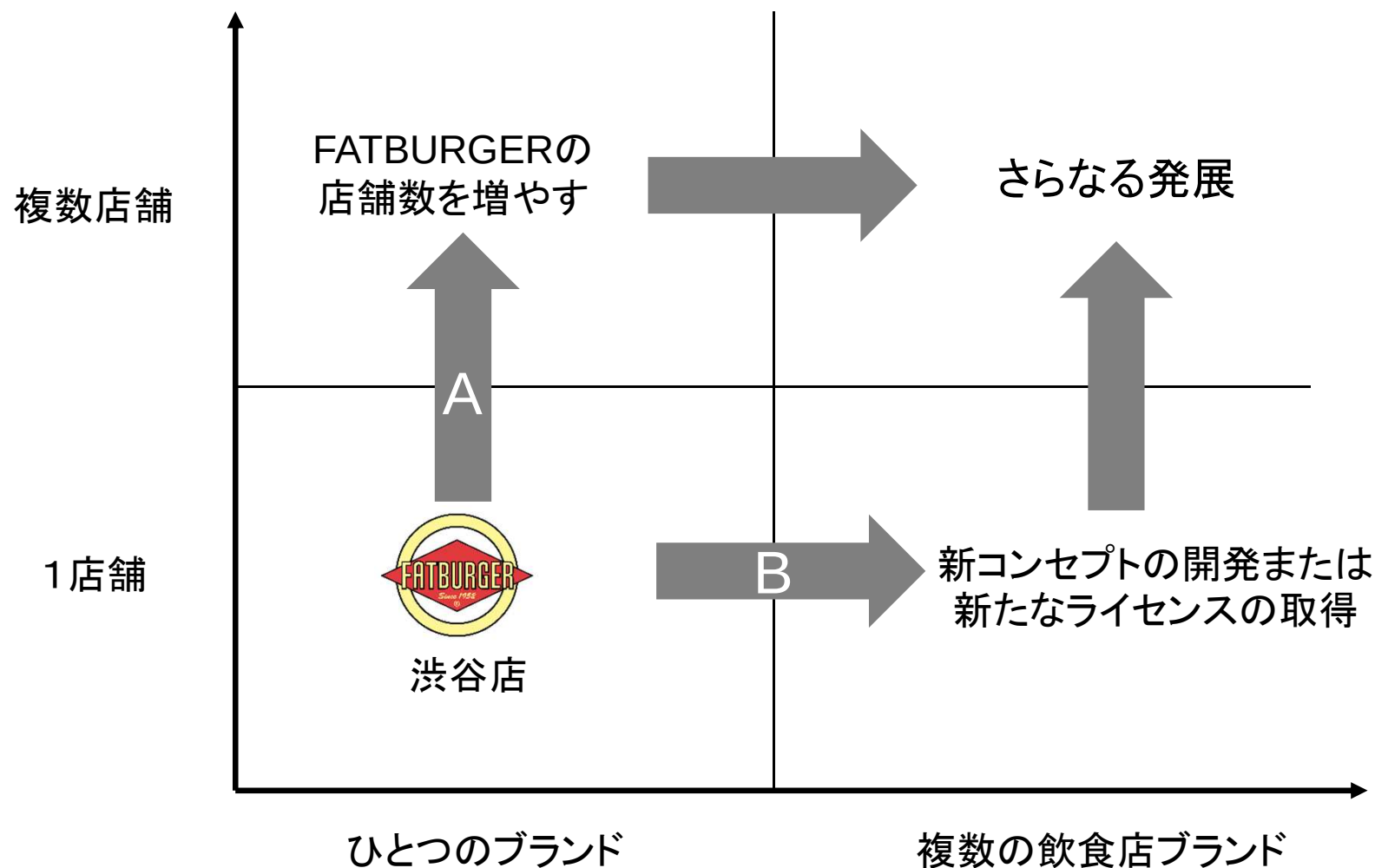
ドリンク1杯ご注文ごとに、コースター(¥100)とストローダマ1枚プレゼント！  
※数量はなくなり次第終了となりますので予めご了承ください。

オーダーごとに、コースター(ランダム 全13種)を各1枚プレゼント！  
※数量はなくなり次第終了となりますので、予めご了承ください。





# Green Micro Factoryのさらなるビジネスの拡大



GMFはAとBの両ビジネスを展開する予定



# 質疑応答



**本資料に含まれている数値目標等、過去の実績以外の記載については、現時点において当社が社内的に検討している目標値、及び入手可能な情報、ならびに将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定等を前提としております。実際の業績及び業績予想は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。**

**IRお問い合わせ先  
経営管理本部管理部  
TEL : 03-5781-2522 (代表)  
MAIL : [ir@g3holdings.com](mailto:ir@g3holdings.com)**